

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

スピーカーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
スピーカーの内蔵ソフトウェアや“Sony | Music Center”は、最新のバージョンをお使いください。

準備する

[各部の名前](#)

電源／充電

- [充電する](#)
- [電源を入れる](#)
- [電源を切る](#)
- [BLUETOOTHスタンバイ機能（自動電源オン機能）を使う](#)
- [オートスタンバイ機能（節電機能）について](#)
- [充電電池の消費電力を抑えて使う](#)

接続する

BLUETOOTH接続

[Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)

[ウォークマン®をBLUETOOTH接続する](#)

[パソコンをBLUETOOTH接続する \(Windows®\)](#)

[パソコンをBLUETOOTH接続する \(Mac\)](#)

マルチポイント接続

[2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する \(マルチポイント接続\)](#)

音楽を聞く

BLUETOOTH機器

[BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)

[モノラル再生／ステレオ再生を切り替える](#)

[BLUETOOTH接続での音楽再生品質を切り替える \(コーデック\)](#)

[BLUETOOTH接続を切断するには \(使い終わるには\)](#)

Stereo Pair機能

[2台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ \(Stereo Pair機能\)](#)

Party Connect機能

[複数台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ \(Party Connect機能\)](#)

通話する

[パソコンでビデオ通話する](#)

[電話を受ける](#)

[電話をかける](#)

“Sony | Music Center”を使う

[“Sony | Music Center”でできること](#)

[“Sony | Music Center”をインストールする](#)

“Fiestable”を使う

[“Fiestable”でできること](#)

[“Fiestable”をインストールする](#)

音声アシスト機能を使う

[音声アシスト機能 \(Google™アプリ\) を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

お知らせ

[ランプ表示](#)

[内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)

ご注意

- [使用上のご注意](#)
- [充電に関するご注意](#)
- [スピーカーを廃棄するには](#)
- [防水・防じんについて](#)
- [スピーカーのお手入れのしかた](#)
- [BLUETOOTH無線技術について](#)
- [ライセンスについて](#)
- [商標について](#)

困ったときは／よくある質問

[故障かな？と思ったら](#)

電源

- [充電ができない](#)
- [電源が入らない、電源が切れてしまう](#)

音（音声）

- [音が出ない、片方の音が出ない、音が小さい、音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる、通話相手の声が聞こえない、声が小さい](#)
- [使用中に音が小さくなる](#)

BLUETOOTH接続

- [ペアリング（機器登録）できない](#)
- [音が途切れる](#)
- [Stereo Pair機能でスピーカーと接続できない](#)
- [Party Connect機能でスピーカーと接続できない](#)
- [Party Connect機能でスピーカーを追加できない](#)
- [2台の機器と同時に接続（マルチポイント接続）できない](#)

リセット

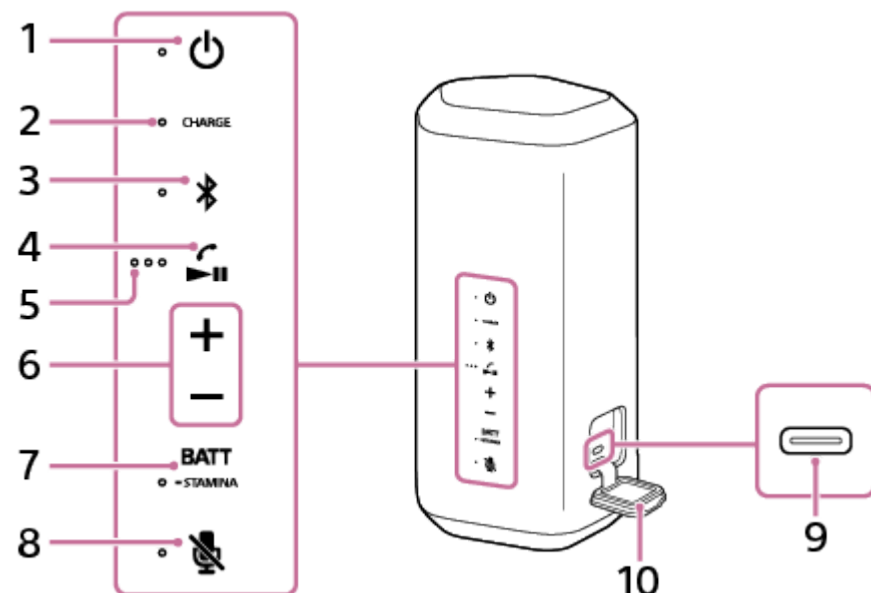
[スピーカーをリスタート（再起動）する](#)

[スピーカーを初期化する](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

各部の名前



1. ㊤ (電源) ボタン・ランプ
2. CHARGE (充電) ランプ
3. ㊤ (BLUETOOTH) ボタン・ランプ
4. ▶|| (再生) / ☎ (通話) ボタン
5. マイク
6. +/- (音量) ボタン
7. BATT (バッテリー) ボタン / ■ STAMINAボタン・ランプ
8. ㊤ (マイクミュート (消音)) ボタン・ランプ^{*1}
9. DC IN端子 (USB Type-C®) ^{*2}
付属のUSB Type-Cケーブルを使って市販のUSB ACアダプターに接続することで、スピーカーを充電できます。
10. キャップ

^{*1} 通話時のみ有効になります。

^{*2} 音楽再生には対応していません。

関連項目

- [ランプ表示](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

充電する

このスピーカーは、市販のUSB ACアダプターで電源コンセントに接続した状態または内蔵充電電池のどちらでもお使いになれます。

初めてスピーカーを使うときは、電源を入れる前に必ず1時間以上充電してください。

あらかじめ充電しておけば、内蔵充電電池のみでスピーカーを使うことができます。

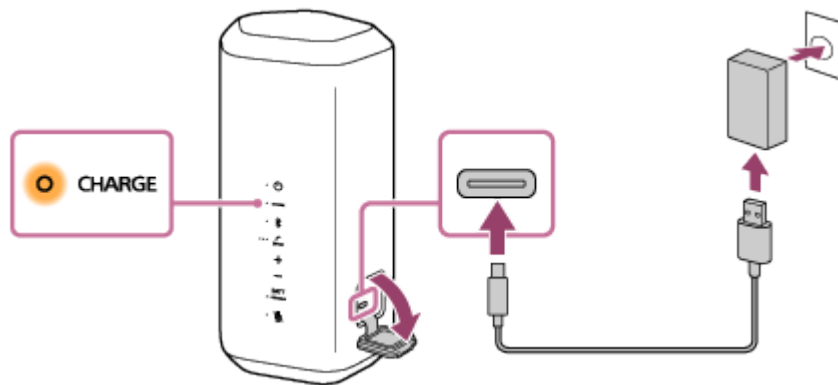
ヒント

- このスピーカーの充電方法には、通常の充電方法のほかに「いたわり充電モード」があります。「いたわり充電モード」をオンに設定すると、最大充電容量を約90%に制限し、バッテリーの耐久寿命を長持ちさせることができます。このモード時は、通常の充電方法で充電した場合よりも、再生時間が短くなります。お買い上げ時はオフに設定されています。
- 「いたわり充電モード」は“Sony | Music Center”でオン／オフの設定ができます。

① スピーカーを電源コンセントに接続して充電する。

USB Type-C®ケーブルをスピーカーのDC IN端子に接続し、もう一方のプラグを市販のUSB ACアダプターに接続する。その後USB ACアダプターを電源コンセントに接続する。

このスピーカーは出力電流3.0 Aまたは1.5 Aが供給可能なUSB ACアダプターに対応しています。出力電流3.0 AのUSB ACアダプターをご使用の際は、充電電流3.0 Aに対応したUSB Type-Cケーブル（USB規格準拠品）をご使用ください。付属のUSBケーブルの対応充電電流は最大1.5 Aです。これ以外の機器からの充電は保証していません。



充電中は、CHARGE（充電）ランプがオレンジ色^{*1}に点灯します。

充電時間は接続する市販のUSB ACアダプターの出力電流によって異なります。また、USB ACアダプターやUSBケーブルの種類・仕様によって、下記の充電時間よりも長く時間がかかる場合があります。周囲の温度や使用状況によっても下記の充電時間と異なる場合があります。

以下は参考数値として記載しています。

- 1.5 Aを出力できる市販のUSB ACアダプターを使用した場合、約5時間^{*2}で充電が完了し、CHARGE（充電）ランプが消灯します。
- 市販のUSB ACアダプターをお使いの場合は、出力電流1.5 A以上を供給できる機器を使用してください。500 mA以上1.5 A未満の機器も使用できますが、充電時間が非常に長くなることがあるため、充電するときはスピーカーの電源を切ることをおすすめします。
出力電流500 mA未満の機器からの充電は保証していません。

*1 いたわり充電モードがオンのときは、白色に点灯します。

*2 スピーカーの電源がオフのとき、電池残量がない状態から充電完了するまでにかかる時間です。

充電が完了し、スピーカーからUSBケーブルを外した後は、必ずキャップを完全に閉じてください。
キャップは、防水・防じん性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。

充電完了を確認する方法

内蔵充電電池が満充電の場合、スピーカーを市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続すると、CHARGE（充電）ランプがオレンジ色^{*}に点灯し、約1分後に消灯します。

^{*} いたわり充電モードがオンのときは、白色に点灯します。

● Android搭載スマートフォン（Android 8.1以降）をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFP（Hands-free Profile）でBLUETOOTH接続している場合、[設定] - [機器接続] - [Bluetooth] をタッチすると、接続済みのBLUETOOTH機器表示のところに、スピーカーの電池残量が表示されます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

● iPhone（iOS 10.0以降）をお使いの場合

iPhoneとHFP（Hands-free Profile）でBLUETOOTH接続している間は、iPhoneのウィジェット画面にスピーカーの電池残量が表示されます。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

内蔵充電電池の電池残量を確認する

スピーカーの電源が入っているときに、BATT（バッテリー）ボタンを押すと、電池残量に応じて下記の音声ガイダンスが流れます。

81% - 100% : 「バッテリー 約100%」

81% - 90%（いたわり充電モード） : 「いたわり充電モード 充電は完了しています バッテリー 約90%」

61% - 80% : 「バッテリー 約80%」

41% - 60% : 「バッテリー 約60%」

21% - 40% : 「バッテリー 約40%」

1% - 20% : 「バッテリーが少なくなりました 充電してください」

ヒント

- スピーカーの電源を入れたときに、電池残量の音声通知（音声ガイダンス）をするように“Sony | Music Center”でオン/オフの設定ができます。

内蔵充電電池の持続時間（いたわり充電モードオフ時/BLUETOOTH接続時）

- 約24時間（通常再生時）
 - － 音量 : 34
 - － STAMINA : オン
- 約14時間（お買い上げ時の設定）
 - － 音量 : 34
 - － STAMINA : オフ
- 約5時間（最大音量再生時）
 - － 音量 : 50（Max.）
 - － STAMINA : オフ
- 約14時間（JEITA^{*}）

^{*} JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

内蔵充電電池の持続時間（10分間充電したとき）

充電10分間で、約70分の音楽再生が可能です。（音量34に設定し、STAMINAをオンに設定した場合）

上記の時間は、当社規定の音源を使用して測定されています。

再生する音量や楽曲、周囲の温度や使用状況により、上記の時間と異なる場合があります。

内蔵充電電池の電池残量が少なくなると

音声ガイダンス（バッテリーが少なくなりました 充電してください）が流れ、CHARGE（充電）ランプがゆっくり点滅し始めたときは、内蔵充電電池の電池残量が少なくなっています。スピーカーを充電してください。

スピーカーが起動できない状態まで電池残量が低下した場合、音声ガイダンス（スピーカーを充電してください 電源を切ります）が流れ、スピーカーの電源が自動的に切れます。スピーカーを充電してください。

電源を入れたときに、CHARGE（充電）ランプがオレンジ色^{*}に3回点滅してから電源が切れた場合は、内蔵充電電池の残量がありません。スピーカーを充電してください。

^{*} いたわり充電モードがオンのときは、白色に点滅します。

ヒント

- スピーカーに接続したUSBケーブルをUSB充電対応端子が標準装備されたパソコンに接続しても充電できます。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。また、自作パソコンは動作保証対象外です。
- スピーカーで音楽を聞いている場合でも、スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されているか、USB充電対応端子が標準装備されたパソコンに接続されていれば充電できます。ただし、使用状況によっては充電時間が長くなることもあるため、充電するときはスピーカーの電源を切ることをおすすめします。

ご注意

- USB ACアダプターの種類／仕様によっては、大音量で使用すると、電源コンセントにつないでいても、内蔵充電電池の残量が減ったり、スピーカーの電源が切れる場合がありますが故障ではありません。この場合は、いったん電源を切り、いったいに充電してから使用してください。
- 内蔵充電電池の残量が少ないときは、スピーカーの最大出力が低下します。
- 周りの温度が非常に低いところや高いところでは、安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。使用可能温度（5℃から35℃）の範囲内でUSBケーブルを抜き差ししてから、もう一度充電してください。
- 水のかかるおそれのある場所では充電しないでください。付属のUSB Type-Cケーブルおよびキャップ内のUSB端子は防水・防じん仕様ではありません。
- 長期間使用しない場合でも、内蔵充電電池の劣化を防ぐため、半年に1度は充電してください。
- Android搭載スマートフォンをA2DP（Advanced Audio Distribution Profile）のみの接続にすると、スピーカーの内蔵充電電池の電池残量は表示されません。

関連項目

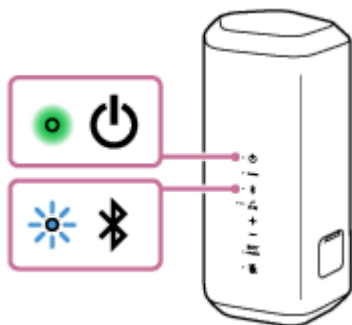
- [電源を入れる](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)
- [充電に関するご注意](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

電源を入れる

1 ㊦（電源）ボタンを押す。

㊦（電源）ランプが緑色に点灯し、（BLUETOOTH）ランプが青色にゆっくり点滅します。



ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにペアリング（機器登録）情報がない状態では、（BLUETOOTH）ランプが青色に2回ずつ点滅します。



ヒント

- 電池残量の音声通知機能がオンに設定されている場合は、スピーカーの電源を入れたときに、電池残量に応じて音声ガイダンスが流れます。

ご注意

- 電源を入れた後、CHARGE（充電）ランプが3回点滅してから電源が切れた場合は、内蔵充電電池の残量がありません。スピーカーを充電してください。
- 音声ガイダンス（バッテリーが少なくなりました 充電してください）が流れ、CHARGE（充電）ランプがゆっくり点滅し始めたときは、内蔵充電電池の電池残量が少なくなっています。スピーカーを充電してください。
- スピーカーが起動できない状態まで電池残量が低下した場合、音声ガイダンス（スピーカーを充電してください 電源を切ります）が流れ、スピーカーの電源が自動的に切れます。スピーカーを充電してください。

関連項目

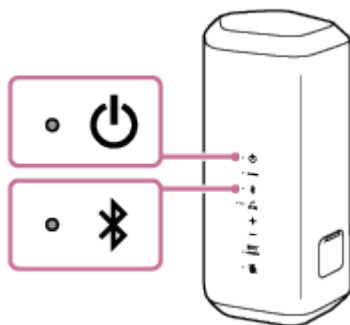
- [充電する](#)
- [電源を切る](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

電源を切る

1 ㊦（電源）ボタンを押す。

㊦（電源）ランプ、（BLUETOOTH）ランプが消灯します。



ヒント

- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されている状態で、スピーカーのBLUETOOTHスタンバイ機能がオンになっているときは、電源を切ると㊦（電源）ランプがオレンジ色に点灯して、BLUETOOTHスタンバイモード*になります。

* お買い上げ時には、BLUETOOTHスタンバイ機能がオフになっています。

関連項目

- [BLUETOOTHスタンバイ機能（自動電源オン機能）を使う](#)
- [オートスタンバイ機能（節電機能）について](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

BLUETOOTHスタンバイ機能（自動電源オン機能）を使う

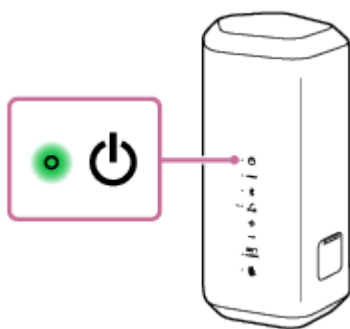
BLUETOOTHスタンバイ機能をオンにしておくと、BLUETOOTH機器の操作で自動的にスピーカーの電源が入り、BLUETOOTH接続が開始されます。

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- BLUETOOTHスタンバイ機能は、スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されているときのみオンになります。内蔵充電電池のみでお使いのときは、BLUETOOTHスタンバイ機能はオフになります。
- あらかじめスピーカーとBLUETOOTH機器をペアリング（機器登録）しておく必要があります。ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにBLUETOOTH接続履歴がない状態では、スピーカーはBLUETOOTHスタンバイモードになりません。

1 スピーカーの電源を入れる。

⏻（電源）ランプが緑色に点灯します。



2 スマートフォンなどの画面で [Music Center] をタッチして起動する。



Music Center

3 [SRS-XE300] をタッチする。



4 [設定] をタッチする。



- 5 「電源オプション」をタッチする。
- 6 「Bluetoothスタンバイ」のチェックボックスをタッチしてチェックマークを付ける。
チェックマークが付いていると、BLUETOOTHスタンバイ機能がオンの状態です。
- 7 スピーカーのトップ画面（手順 4 の画面）へ戻る。
設定が有効になります。

BLUETOOTHスタンバイ機能をオフにするには

上記の手順 6 で、「Bluetoothスタンバイ」のチェックボックスをタッチしてチェックマークを外してください。スピーカーのトップ画面（手順 4 の画面）へ戻ると、BLUETOOTHスタンバイ機能がオフになります。

ヒント

- スピーカーがBLUETOOTHスタンバイモードになっていると、スピーカーの電源が切れている間は （電源）ランプがオレンジ色に点灯します。（市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されているとき）

関連項目

- [充電する](#)
- [電源を入れる](#)
- [ランプ表示](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

オートスタンバイ機能（節電機能）について

下記の状態が約15分間続くと、スピーカーの電源を自動的に切り、内蔵充電電池の消耗を抑えます。
お買い上げ時は、オートスタンバイ機能はオンに設定されています。

- スピーカーを操作していない。
- BLUETOOTH接続されているスマートフォン／携帯電話のハンズフリー機能がオフに設定されている、スマートフォン／携帯電話で音楽（音声）を再生していない、または操作されていない。詳しくは、スマートフォン／携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ウォークマン[®]などのBLUETOOTH接続された機器で、音楽（音声）を再生していない、または操作されていない。

ヒント

- “Sony | Music Center”を使って、オートスタンバイ機能のオン／オフを切り替えることができます。

ご注意

- スピーカーにAndroid搭載スマートフォンまたはiPhoneなどがHFP（Hands-free Profile）でBLUETOOTH接続されていると、オートスタンバイ機能はオフになります。

オートスタンバイ機能をオン／オフする

- 1 スピーカーの電源を入れる。
- 2 +（音量）ボタンと－（音量）ボタンを同時に約5秒間押し続ける。
 - オートスタンバイ機能がオフに切り替わると、（電源）ランプがオレンジ色に3回点滅します。
 - オートスタンバイ機能がオンに切り替わると、（電源）ランプがオレンジ色に2回点滅します。

関連項目

- “Sony | Music Center”でできること

ワイヤレススピーカー SRS-XE300

充電電池の消費電力を抑えて使う

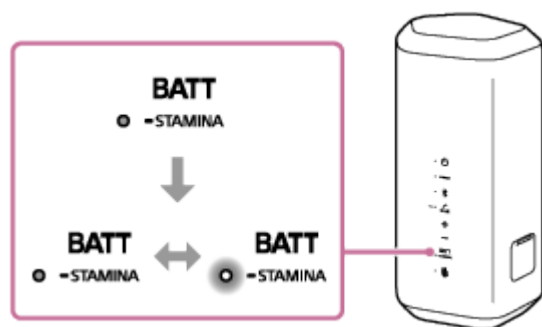
内蔵充電電池でスピーカーを使用しているときに、消費電力を抑えてより長い時間スピーカーを使用することができます。

STAMINA

STAMINAをオンでお使いの場合、消費電力が抑えられ、内蔵充電電池で使用しているときに、より長い時間音楽再生を楽しむことができます。

お買い上げ時は、STAMINAはオフに設定されています。以下のいずれかの方法で設定を変更できます。

- “Sony | Music Center”の[SRS-XE300] - [設定] - [電源オプション] - [電力最適化] - [STAMINA(電池優先)] にチェックを入れる。
- スピーカーのBATT (バッテリー) / ■ STAMINAボタンを約2秒間押し続ける。
STAMINAランプが白色に点灯し、STAMINAがオンに切り替わります。
BATT (バッテリー) / ■ STAMINAボタンを約2秒間押し続けるとSTAMINAを解除できます。



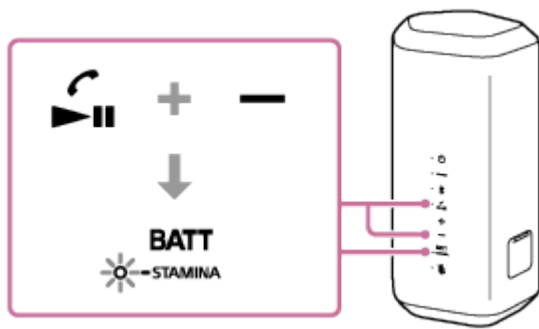
外音ノイズセンシング機能

独自のマイクセンシング技術により、音楽再生中にスピーカーの周辺ノイズを自動検知します。周辺ノイズにより聞こえにくくなる低音をカットすることで、電池消費を賢く抑え、バッテリーを長持ちさせます*。

お買い上げ時は、外音ノイズセンシング機能はオンに設定されています。以下のいずれかの方法で設定を変更できます。

* 外音ノイズセンシング機能がオンで、音量を最大に設定した場合、周囲の環境により内蔵充電電池の持続時間が最大1時間増加します。

- “Sony | Music Center”の[SRS-XE300] - [設定] - [電源オプション] - [電力最適化] - [外音ノイズセンシング] にチェックを入れる。
- スピーカーの▶|| (再生) / ☎ (通話) ボタンと- (音量) ボタンを同時に約5秒間押し続ける。
 - 外音ノイズセンシング機能がオフに切り替わると、STAMINAランプが白色に3回点滅します。
 - 外音ノイズセンシング機能がオンに切り替わると、STAMINAランプが白色に2回点滅します。



ご注意

- STAMINAがオンに設定されていると、外音ノイズセンシング機能は無効になります。

関連項目

- [充電する](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)

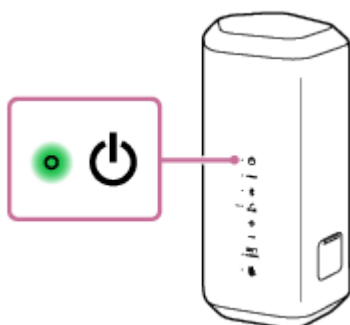
ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング（機器登録）といいます。
スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。
ペアリング情報は電源を切ったときにスピーカーへ登録されます。
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

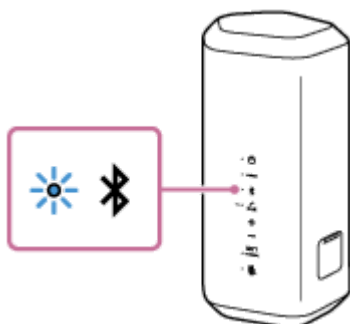
- スピーカーから1 m以内の距離にAndroid搭載スマートフォンまたはiPhoneを近づける。
- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されている。または内蔵充電電池が十分に充電されている。
- 急に大きな音が出ることを防ぐため、Android搭載スマートフォンまたはiPhoneとスピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。
お使いのAndroid搭載スマートフォンまたはiPhoneによっては、スピーカーとBLUETOOTH接続された後に音楽を再生すると、Android搭載スマートフォンまたはiPhoneの音量がスピーカーの音量に同期することがあります。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンまたはiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 スピーカーの電源を入れる。



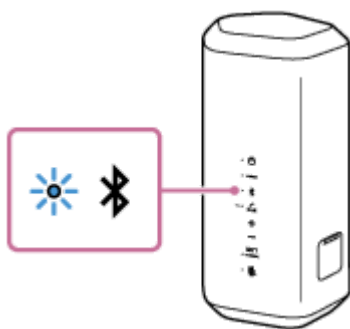
2 ※（BLUETOOTH）ランプの状態を確認する。

ランプが2回ずつ点滅している場合



お買い上げ後に初めてペアリングするときや、スピーカーを初期化した後（スピーカーにペアリング情報がない場合）は、スピーカーの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。手順 ④ へ進んでください。

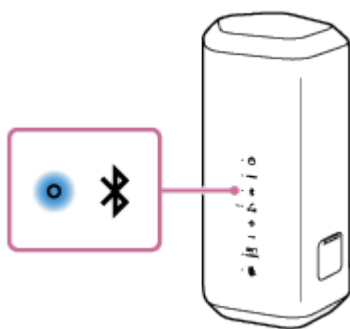
ランプがゆっくり点滅している場合



BLUETOOTH接続を探している状態です。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順③へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順④へ進んでください。スマートフォンのBLUETOOTH機能をオンにするだけで、スピーカーと自動的に接続されます。BLUETOOTH機器によっては、スピーカーの電源を入れるだけで再接続される場合があります。詳しくは、BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ランプが点灯しているとき



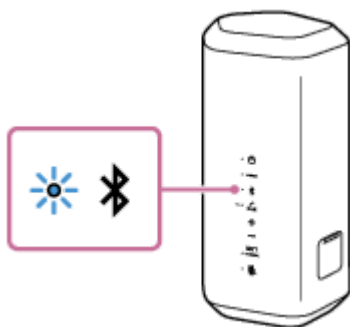
スピーカーとBLUETOOTH機器が接続されています。

別のBLUETOOTH機器と接続する場合は、以下のいずれかの手順を行ってください。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順③へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順④へ進んでください。スマートフォンのBLUETOOTH機能をオンにするだけで、スピーカーと自動的に接続されます。

③ ※（BLUETOOTH）ボタンを押す。

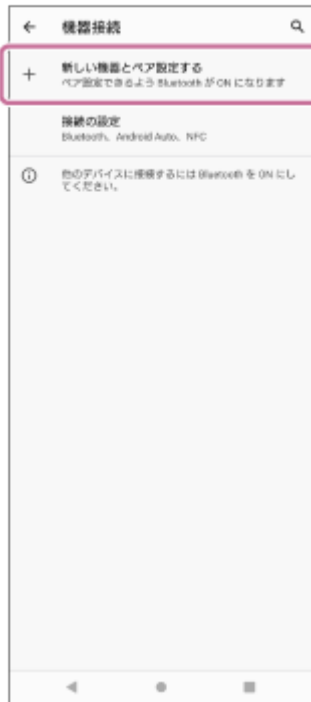
スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース ペアリングモード）が流れ、※（BLUETOOTH）ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。



④ Android搭載スマートフォンまたはiPhoneでペアリングの操作を行い、スピーカーを検索する。

Android搭載スマートフォンの場合

1. [設定] をタッチする。
2. [機器接続] をタッチする。
3. 新たな機器と接続する場合は、[新しい機器とペア設定する] をタッチする。
ペアリング済みの機器を再接続する場合は、次の手順 ④ -4へ進んでください。



4. [SRS-XE300] をタッチする。



[SRS-XE300] が表示されない場合は、右上の [Q] をタッチして検索してください。

iPhoneの場合

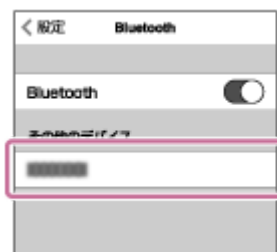
1. [設定] を選択する。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. [] をタッチして [] にする。



4. [SRS-XE300] をタッチする。



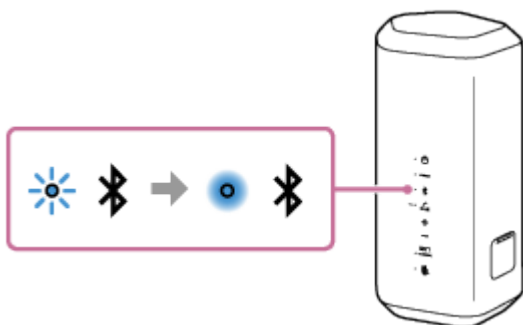
パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

iPhoneの画面に[SRS-XE300]が表示されない場合は、もう一度 [] をタッチして [] から [] にしてください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 画面の指示に従って操作し、BLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。



接続されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

ヒント

- 前回BLUETOOTH接続を行った機器とは、機器のBLUETOOTH機能が有効であれば、スピーカーの電源を入れるだけで再接続されます。
- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのAndroid搭載スマートフォンまたはiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- “Sony | Music Center”を使って、BLUETOOTH機器の接続および切断などを行うことができます。

- 最大2台のBLUETOOTH機器を同時接続することができます。（マルチポイント接続）

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- スピーカーのペアリングモードは約5分で解除され、✱（BLUETOOTH）ランプが遅い点滅に変わります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前にスピーカーのペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。
- スピーカーのパスキーは、「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBLUETOOTH機器とペアリングすることはできません。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - － 8台の機器をペアリングした後、新たな機器をペアリングしたとき。
スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。8台の機器をペアリングした後新たな機器をペアリングすると、8台の中でBLUETOOTH接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - － 接続相手の機器から、スピーカーとのペアリング情報が削除されたとき。
 - － スピーカーを初期化したとき。
すべてのペアリング情報が消去されます。スピーカーを初期化すると、Android搭載スマートフォンまたはiPhoneとBLUETOOTH接続できなくなる場合があります。この場合は、Android搭載スマートフォンまたはiPhone側のスピーカーのペアリング情報をいったん削除して、ペアリングをやり直してください。
- スピーカーは複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
- Stereo Pair機能、Party Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。

関連項目

- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

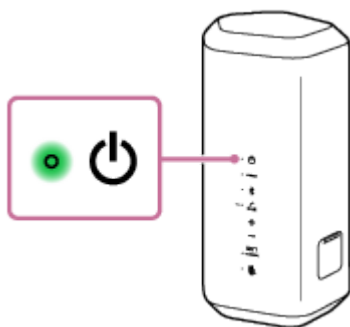
ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

ウォークマン®をBLUETOOTH接続する

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング（機器登録）といいます。
スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。
ペアリング情報は電源を切ったときにスピーカーへ登録されます。
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

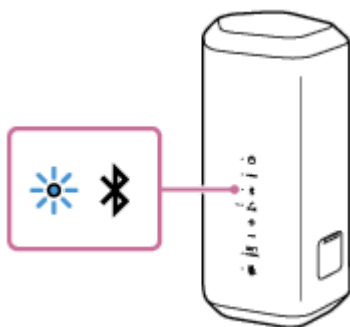
- スピーカーから1 m以内の距離にウォークマン®を近づける。
- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されている。または内蔵充電池が十分に充電されている。
- 急に大きな音が出ることを防ぐため、ウォークマン®とスピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。
お使いのウォークマン®によっては、スピーカーとBLUETOOTH接続された後に音楽を再生すると、ウォークマン®の音量がスピーカーの音量に同期することがあります。
- 接続するウォークマン®の取扱説明書を準備する。

1 スピーカーの電源を入れる。



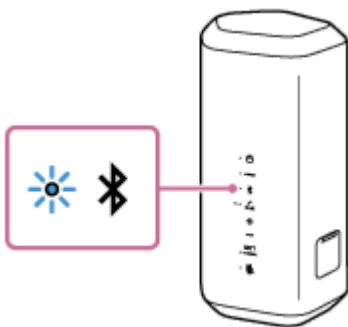
2 ※（BLUETOOTH）ランプの状態を確認する。

ランプが2回ずつ点滅している場合



お買い上げ後に初めてペアリングするときや、スピーカーを初期化した後（スピーカーにペアリング情報がない場合）は、スピーカーの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。手順 4 へ進んでください。

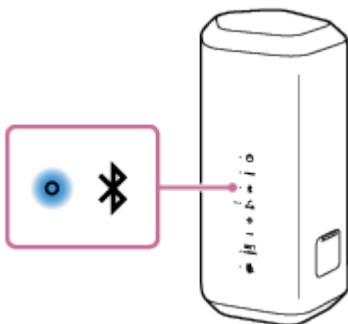
ランプがゆっくり点滅している場合



BLUETOOTH接続を探している状態です。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。
ウォークマン®のBLUETOOTH機能をオンにするだけで、スピーカーと自動的に接続されます。
BLUETOOTH機器によっては、スピーカーの電源を入れるだけで再接続される場合があります。詳しくは、BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ランプが点灯しているとき



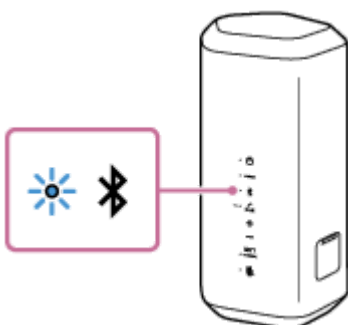
スピーカーとBLUETOOTH機器が接続されています。

別のBLUETOOTH機器と接続する場合は、以下のいずれかの手順を行ってください。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。ウォークマン®のBLUETOOTH機能をオンにするだけで、スピーカーと自動的に接続されます。

③ ※（BLUETOOTH）ボタンを押す。

スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース ペアリングモード）が流れ、※（BLUETOOTH）ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。



④ ウォークマン®でペアリングの操作を行い、スピーカーを検索する。

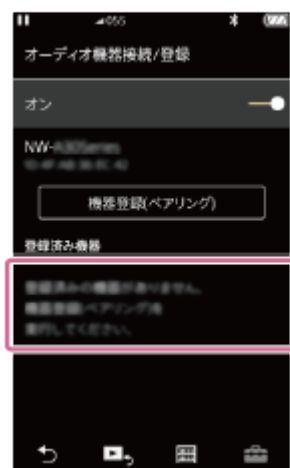
1. ライブラリ画面で [ (オプション/設定)] - [ 設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続/登録] を選択する。
2. BLUETOOTHスイッチをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。



3. [機器登録 (ペアリング)] を選択する。



4. [SRS-XE300] を選択する。



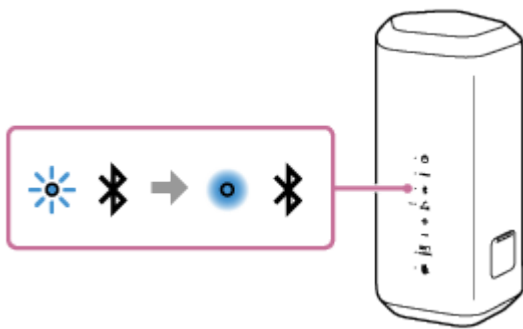
パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

ウォークマン®の画面に [SRS-XE300] が表示されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

5 画面の指示に従って操作し、BLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。



接続されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

ヒント

- 前回BLUETOOTH接続を行った機器とは、機器のBLUETOOTH機能が有効であれば、スピーカーの電源を入れるだけで再接続されます。
- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 最大2台のBLUETOOTH機器を同時接続することができます。（マルチポイント接続）

ご注意

- スピーカーのペアリングモードは約5分で解除され、✱（BLUETOOTH）ランプが遅い点滅に変わります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前にスピーカーのペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。
- スピーカーのパスキーは、「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBLUETOOTH機器とペアリングすることはできません。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - 8台の機器をペアリングした後、新たな機器をペアリングしたとき。
スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。8台の機器をペアリングした後新たな機器をペアリングすると、8台の中でBLUETOOTH接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手の機器から、スピーカーとのペアリング情報が削除されたとき。
 - スピーカーを初期化したとき。
すべてのペアリング情報が消去されます。スピーカーを初期化すると、ウォークマン®とBLUETOOTH接続できなくなる場合があります。この場合は、ウォークマン®側のスピーカーとのペアリング情報をいったん削除して、ペアリングをやり直してください。
- スピーカーは複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
- Stereo Pair機能、Party Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。

関連項目

- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

パソコンをBLUETOOTH接続する (Windows®)

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング (機器登録) といいます。
スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。
ペアリング情報は電源を切ったときにスピーカーへ登録されます。

対応OS

Windows 10、Windows 8.1

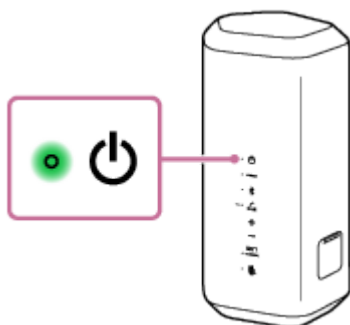
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- スピーカーから1 m以内の距離にパソコンを近づける。
- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されている。または内蔵充電電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するパソコンとスピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが「消音 (OFF)」モードになっていると、BLUETOOTHスピーカーからも音が出ません。

－ パソコンのスピーカーがONモードの状態

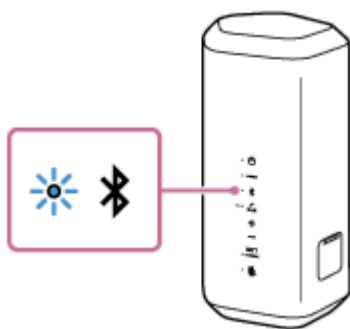


1 スピーカーの電源を入れる。



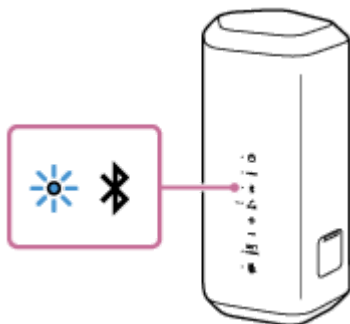
2 ※ (BLUETOOTH) ランプの状態を確認する。

ランプが2回ずつ点滅している場合



お買い上げ後に初めてペアリングするときや、スピーカーを初期化した後（スピーカーにペアリング情報がない場合）は、スピーカーの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。手順 ④ へ進んでください。

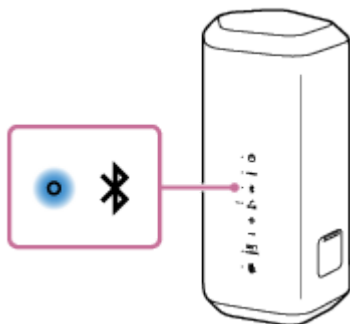
ランプがゆっくり点滅している場合



BLUETOOTH接続を探している状態です。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。
BLUETOOTH機器によっては、スピーカーの電源を入れるだけで再接続される場合があります。詳しくは、BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ランプが点灯しているとき



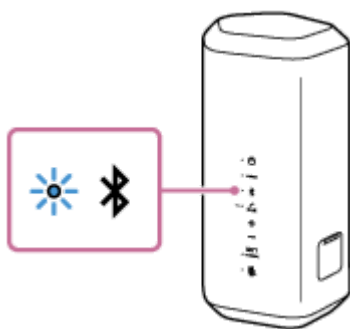
スピーカーとBLUETOOTH機器が接続されています。

別のBLUETOOTH機器と接続する場合は、以下のいずれかの手順を行ってください。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。

③ ※（BLUETOOTH）ボタンを押す。

スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース ペアリングモード）が流れ、※（BLUETOOTH）ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。



4 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

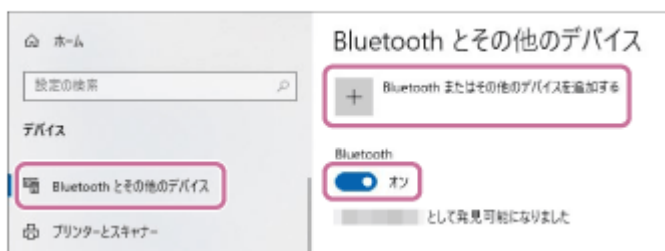
5 パソコンでスピーカーを登録する。

Windows 10の場合

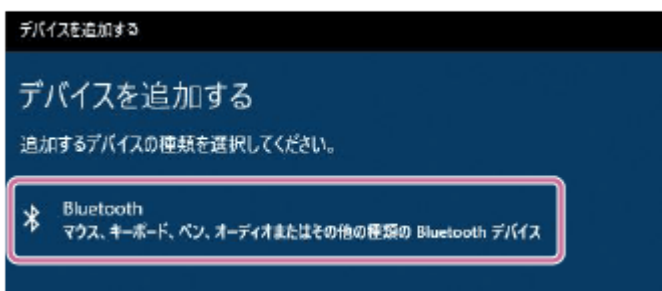
1. [スタート] ボタン - [設定] の順にクリックする。
2. [デバイス] をクリックする。



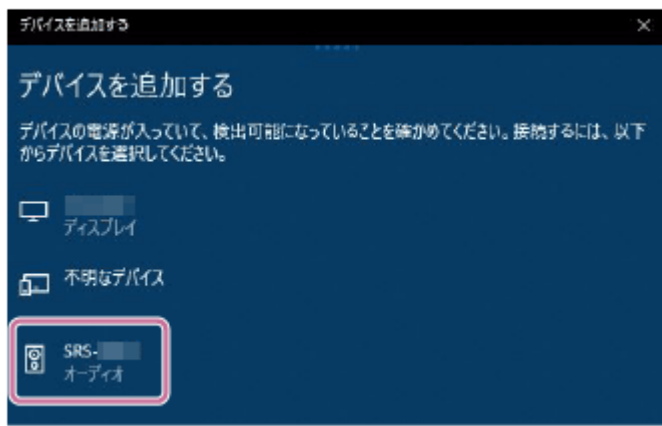
3. [Bluetoothとその他のデバイス] タブの「Bluetooth」スイッチをクリックしてBLUETOOTH機能をオンにし、[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックする。



4. [Bluetooth] をクリックする。



5. [SRS-XE300] を選ぶ。



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

画面に「SRS-XE300」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

6. ペ어링後、自動で接続して、「音楽に接続済み」もしくは「音声、音楽に接続済み」と表示されます。手順 ⑥ へ進んでください。

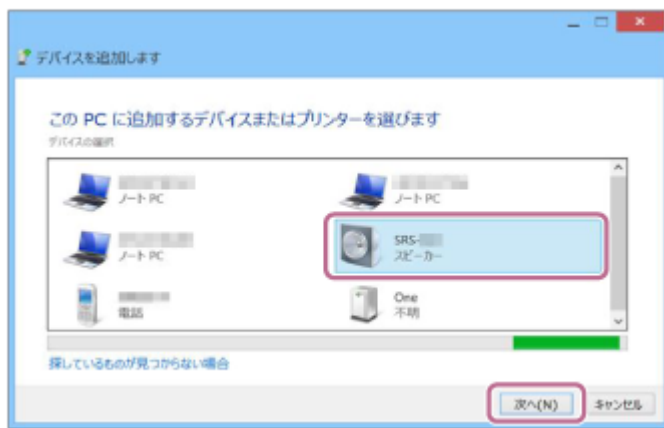


Windows 8.1の場合

1. [スタート] ボタンを右クリックし、「コントロールパネル」をクリックする。
[すべてのコントロールパネル項目] が表示されるので、「デバイスとプリンター」を選びます。
[すべてのコントロールパネル項目] ではなく [コントロールパネル] 画面が表示される場合は、画面右上の [表示方法] で [大きいアイコン] または [小さいアイコン] を選択してください。
2. [デバイスの追加] をクリックする。



3. [SRS-XE300] を選び [次へ] をクリックする。

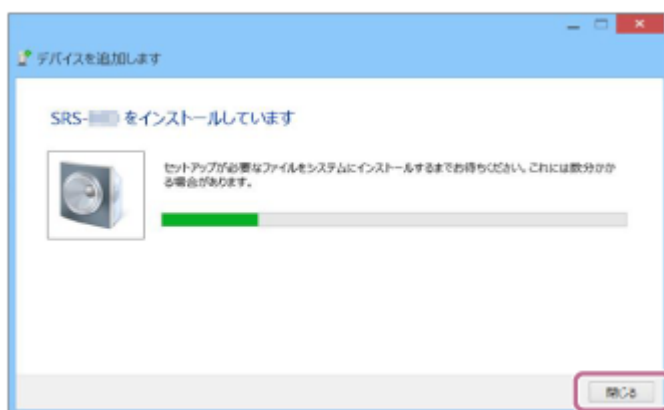


パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

画面に「SRS-XE300」が表示されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4. 下記の画面が表示されたら「閉じる」をクリックする。
パソコンへのドライバーのインストールが始まります。



インストール中は「SRS-XE300」アイコンの左下に「④」マークが表示されます。「④」マークが消えたら、ドライバーのインストールは完了です。次の手順 ⑤ -5へ進んでください。



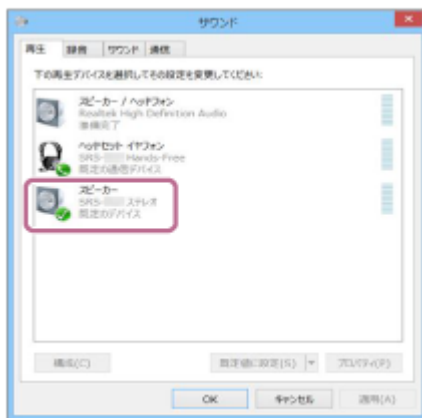
パソコンによっては、インストールに時間がかかることがあります。ドライバーのインストールに一定の時間がかかると、スピーカーの電源がオートスタンバイ機能により自動的に切れます。この場合はもう一度スピーカーの電源を入れ直してください。

5. 「デバイス」の「SRS-XE300」を右クリックし、表示されたメニューから「サウンドの設定」を選択する。

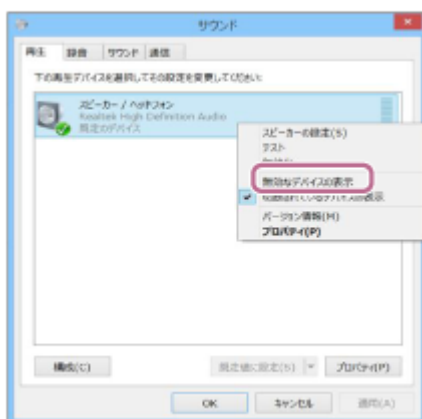


6. [サウンド] 画面の [SRS-XE300ステレオ] を確認する。

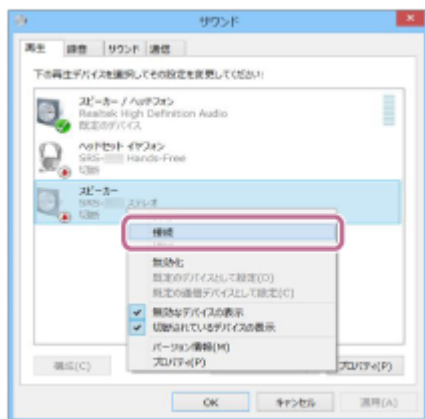
- [SRS-XE300ステレオ] にチェックマーク（緑色）が付いていたら、手順 6 へ進んでください。



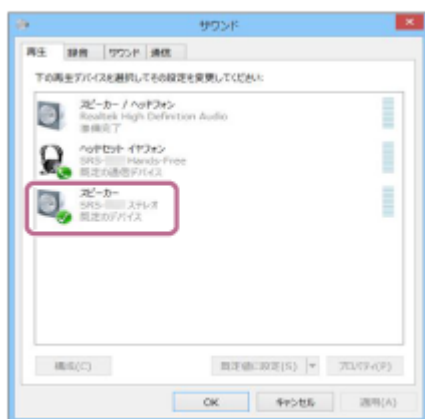
- [SRS-XE300ステレオ] にチェックマーク（緑色）が付いていない場合は、次の手順 5-7へ進んでください。
- [SRS-XE300ステレオ] が表示されない場合は、[サウンド] 画面で右クリックし、表示されたメニューから [無効なデバイスの表示] を選択して、次の手順 5-7へ進んでください。



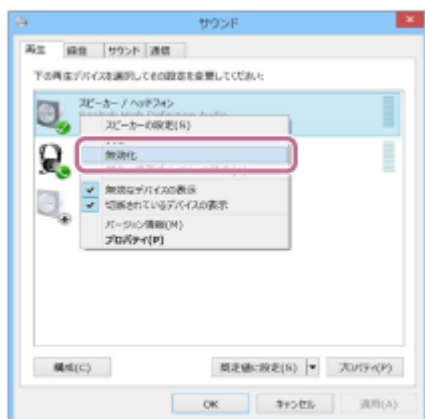
7. [SRS-XE300ステレオ] を右クリックし、表示されたメニューから [接続] を選択する。



接続が完了すると、[サウンド] 画面の [SRS-XE300ステレオ] にチェックマークが表示されます。手順 6 へ進んでください。

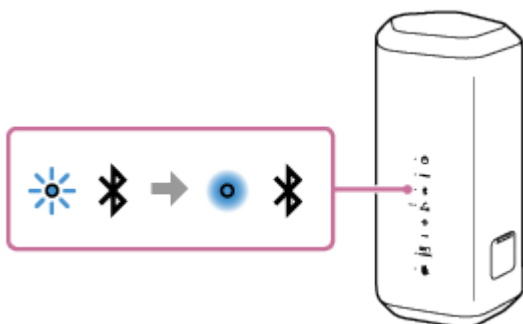


[SRS-XE300ステレオ] の [接続] が押せない場合は、現在チェックマーク（緑色）が表示されている [既存のデバイス] の [無効化] を選択してください。



6 画面の指示に従って操作し、BLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、※（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。



接続されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。また、自作パソコンは動作保証対象外です。
- 最大2台のBLUETOOTH機器を同時接続することができます。（マルチポイント接続）

ご注意

- スピーカーのペアリングモードは約5分で解除され、✱（BLUETOOTH）ランプが遅い点滅に変わります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前にスピーカーのペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - 8台の機器をペアリングした後、新たな機器をペアリングしたとき。
スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。8台の機器をペアリングした後新たな機器をペアリングすると、8台の中でBLUETOOTH接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手の機器から、スピーカーとのペアリング情報が削除されたとき。
 - スピーカーを初期化したとき。
すべてのペアリング情報が消去されます。スピーカーを初期化すると、パソコンとBLUETOOTH接続できなくなる場合があります。この場合は、パソコン側のスピーカーのペアリング情報を削除して、ペアリングをやり直してください。
- スピーカーは複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
- スピーカーのパスキーは、「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBLUETOOTH機器とペアリングすることはできません。
- Stereo Pair機能、Party Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。

関連項目

- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

パソコンをBLUETOOTH接続する (Mac)

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング (機器登録) といいます。
スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。
ペアリング情報は電源を切ったときにスピーカーへ登録されます。

対応OS

macOS Catalina (バージョン10.15)

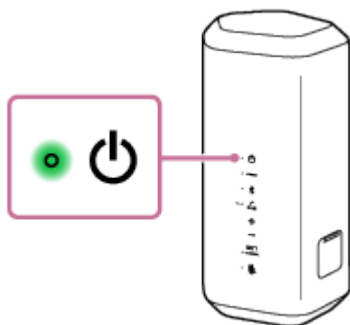
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- スピーカーとパソコンが1 m以内に置かれている。
- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されている。または内蔵充電電池が十分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するパソコンとスピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが ■ 「消音 (OFF)」 モードになっていると、BLUETOOTHスピーカーからも音が出ません。

－ パソコンのスピーカーがONモードの状態

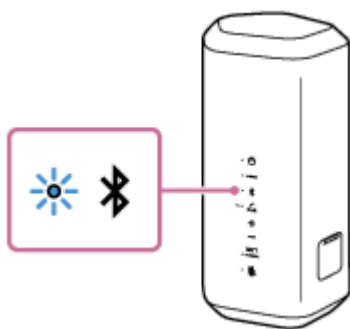


1 スピーカーの電源を入れる。



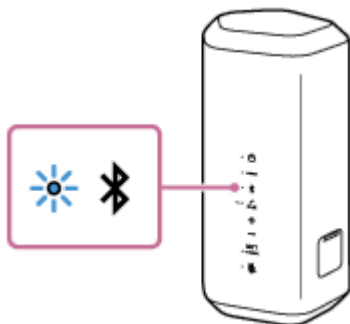
2 ※ (BLUETOOTH) ランプの状態を確認する。

ランプが2回ずつ点滅している場合



お買い上げ後に初めてペアリングするときや、スピーカーを初期化した後（スピーカーにペアリング情報がない場合）は、スピーカーの電源を入れると自動的にペアリングモードになります。手順 ④ へ進んでください。

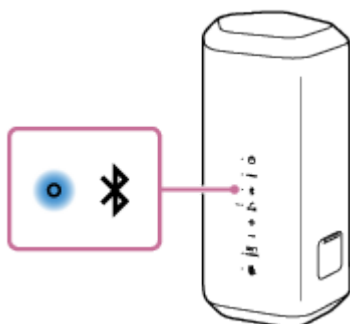
ランプがゆっくり点滅している場合



BLUETOOTH接続を探している状態です。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。
BLUETOOTH機器によっては、スピーカーの電源を入れるだけで再接続される場合があります。詳しくは、BLUETOOTH機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ランプが点灯しているとき



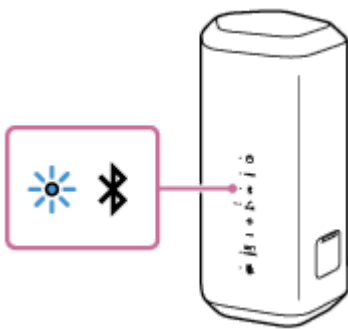
スピーカーとBLUETOOTH機器が接続されています。

別のBLUETOOTH機器と接続する場合は、以下のいずれかの手順を行ってください。

- 2台目以降のBLUETOOTH機器とペアリングを行う場合（スピーカーに他の機器のペアリング情報がある場合）は、手順 ③ へ進んでください。
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器を再接続したいときは、手順 ④ へ進んでください。

③ ※（BLUETOOTH）ボタンを押す。

スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース ペアリングモード）が流れ、※（BLUETOOTH）ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。



4 パソコンでスピーカーを検索する。

1. 画面右下のタスクバーで [ (システム環境設定)] - [Bluetooth] の順にクリックする。

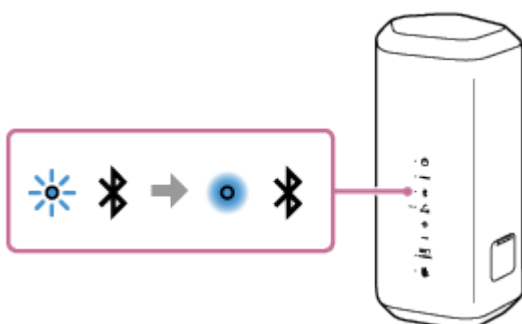


2. Bluetooth画面から [SRS-XE300] を選び、[ペアリング] をクリックする。



5 画面の指示に従って操作し、BLUETOOTH接続する。

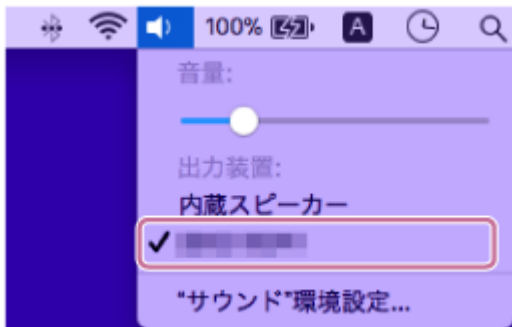
BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。



接続されない場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。

6 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、[出力装置] から [SRS-XE300] を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。また、自作パソコンは動作保証対象外です。
- 最大2台のBLUETOOTH機器を同時接続することができます。（マルチポイント接続）

ご注意

- スピーカーのペアリングモードは約5分で解除され、✱（BLUETOOTH）ランプが遅い点滅に変わります。ただし、ご購入後に初めてBLUETOOTH機能を使うときなど、スピーカーにペアリング情報がない状態では、ペアリングモードは解除されません。手順が完了する前にスピーカーのペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 ③ から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - 8台の機器をペアリングした後、新たな機器をペアリングしたとき。
スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。8台の機器をペアリングした後新たな機器をペアリングすると、8台の中でBLUETOOTH接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手の機器から、スピーカーとのペアリング情報が削除されたとき。
 - スピーカーを初期化したとき。
すべてのペアリング情報が消去されます。スピーカーを初期化すると、パソコンとBLUETOOTH接続できなくなる場合があります。この場合は、パソコン側のスピーカーのペアリング情報を削除して、ペアリングをやり直してください。
- スピーカーは複数の機器とペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。
- スピーカーのパスキーは、「0000」に固定されています。パスキーが「0000」でないBLUETOOTH機器とペアリングすることはできません。
- Stereo Pair機能、Party Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。

関連項目

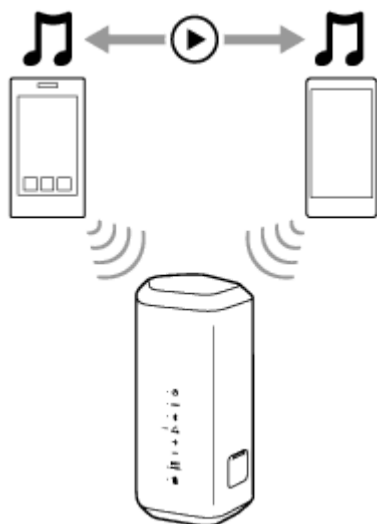
- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

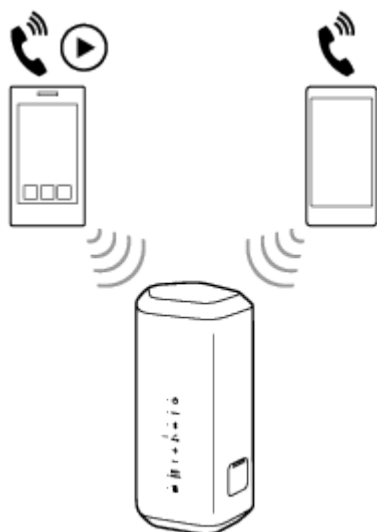
2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

スピーカーと2台のBLUETOOTH機器を同時にBLUETOOTH接続して、以下のことができます。

- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、BLUETOOTH接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



- 2台のスマートフォン（iPhoneを含む）の着信を待ち受ける
どちらか一方のスマートフォン（iPhoneを含む）で再生している音楽を聞きながら、2台のスマートフォン（iPhoneを含む）両方で着信を待ち受けし、どちらか一方に着信があれば通話することができます。



2台の機器を同時にBLUETOOTH接続する

1 スピーカーと1台目のBLUETOOTH機器を接続する。

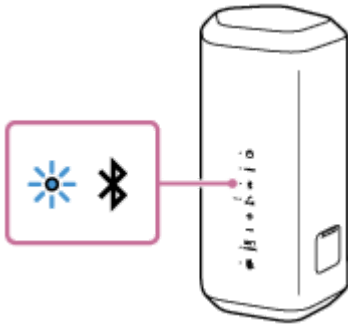
BLUETOOTH接続方法について詳しくは、以下からお使いの機器のページをご覧ください。

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [ウォークマン®をBLUETOOTH接続する](#)

- パソコンをBLUETOOTH接続する (Windows®)
- パソコンをBLUETOOTH接続する (Mac)

2 スピーカーに1台目のBLUETOOTH機器が接続されている状態で、 (BLUETOOTH) ボタンを押す。

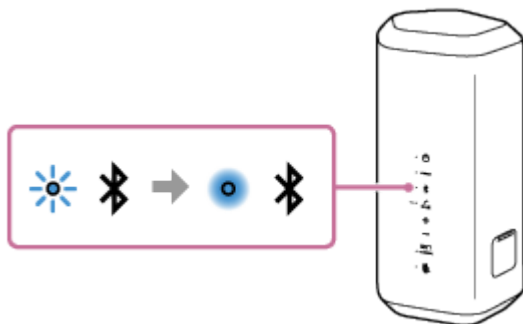
スピーカーから音声ガイダンス (ブルートゥース ペアリングモード) が流れ、 (BLUETOOTH) ランプが2回ずつ点滅を開始します (ペアリングモード)。



3 2台目のBLUETOOTH機器で操作を行い、スピーカーを検索する。

4 画面の指示に従って操作し、BLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス (ブルートゥース 2台目のデバイスを接続しました) が流れ、 (BLUETOOTH) ランプが点滅から点灯に変わります。



マルチポイント接続したBLUETOOTH機器を変更する

2台の機器をマルチポイント接続した状態で、別の機器をBLUETOOTH接続することができます。スピーカーと3台目の機器を操作してBLUETOOTH接続する場合、最後に音楽再生や通話を行った機器のBLUETOOTH接続は維持され、もう一方の機器とのBLUETOOTH接続が切断されます。その後、3台目の機器がスピーカーとBLUETOOTH接続されます。

2台の機器をマルチポイント接続した状態での音楽再生

- スピーカーを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
- もう一方の機器 (2台目) から音楽を再生したいときは、2台目の機器を操作して音楽を再生します。場合によっては、2台目の機器を操作して再生を始めても、スピーカーからは最後に再生していた機器 (1台目) の音楽が継続して聞こえることがあります。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目の音楽を聞くことができます。

2台のスマートフォン (iPhoneを含む) をマルチポイント接続した状態での通話

- スピーカーに2台のスマートフォン (iPhoneを含む) をマルチポイント接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。

- 1台目の機器に着信があると、着信音はスピーカーから聞こえます。
- スピーカーで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がスピーカーから聞こえるようになります。

音声ガイダンスについて

マルチポイント接続時、状況に応じて下記の音声ガイダンスが流れます。

- 1台目の機器がスピーカーにBLUETOOTH接続されたとき：「ブルートゥース デバイス1 接続しました」
- 2台目の機器がスピーカーにBLUETOOTH接続されたとき：「ブルートゥース デバイス2 接続しました」
- 1台目の機器のBLUETOOTH接続が切断されたとき：「ブルートゥース デバイス 1 切断しました」
- 2台目の機器のBLUETOOTH接続が切断されたとき：「ブルートゥース デバイス 2 切断しました」
- 3台目の機器を接続し、1台目の機器のBLUETOOTH接続が切断されて、接続が入れ替わったとき：「ブルートゥース デバイス 1 入れ替えました」
- 3台目の機器を接続し、2台目の機器のBLUETOOTH接続が切断されて、接続が入れ替わったとき：「ブルートゥース デバイス 2 入れ替えました」

ヒント

- 前回BLUETOOTH接続を行った機器とは、機器のBLUETOOTH機能が有効であれば、スピーカーの電源を入れるだけで再接続されます。
- “Sony | Music Center”を使って、BLUETOOTH機器の接続および切断などを行うことができます。

ご注意

- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。
- 接続するBLUETOOTH機器によっては、マルチポイント接続できない場合があります。
- マルチポイント接続を無効にすることはできません。

関連項目

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [ウォークマン®をBLUETOOTH接続する](#)
- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Windows®）](#)
- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Mac）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く

お使いのBLUETOOTH機器が次のプロファイルに対応していれば、スピーカーで音楽を聞いたり、スピーカーからBLUETOOTH機器を操作したりできます。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

音量の調節および音楽の再生／一時停止／曲送り／曲の頭出しなどができます。

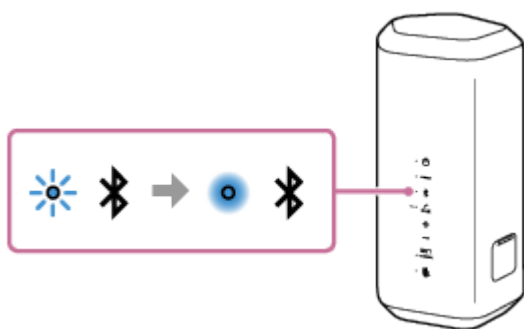
操作はBLUETOOTH機器によって異なることがあります。お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するBLUETOOTH機器とスピーカーの音量を小さくしておいてください。
接続する機器によっては、音楽再生の停止／一時停止中にBLUETOOTH機器からスピーカーの音量調節ができないことがあります。

1 スピーカーとBLUETOOTH機器を接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、✱（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。



2 BLUETOOTH機器を再生する。

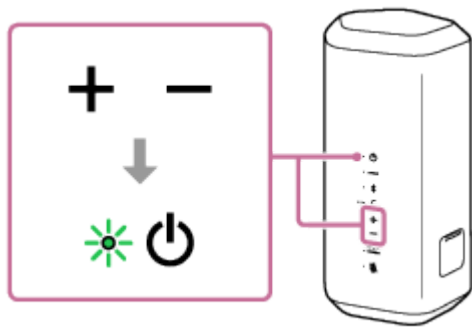
お買い上げ時、音声出力はモノラル再生に設定されています。
モノラル／ステレオの切り替えは、“Sony | Music Center”で行うことができます。

3 スピーカーの+/-（音量）ボタンか、BLUETOOTH機器を操作して音量を調節する。

スピーカーの+/-（音量）ボタンまたはBLUETOOTH機器を操作して音量を調節すると、⏻（電源）ランプが1回または3回点滅します。

お使いのBLUETOOTH機器によってはBLUETOOTH機器側で音量を調節してもスピーカーの⏻（電源）ランプが点滅しない場合があります。

+/-（音量）ボタンを押し続けると、連続して調整できます。



再生中に、スピーカーのボタンを使って以下の操作をすることができます。

一時停止

再生中に ▶|| (再生) / ☎ (通話) ボタンを押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止を解除します。

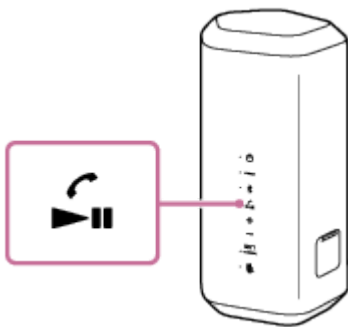
次の曲へ移動

再生中に ▶|| (再生) / ☎ (通話) ボタンをすばやく2回押します。

現在もしくは前の曲の頭へ移動*

再生中に ▶|| (再生) / ☎ (通話) ボタンをすばやく3回押します。

* 使用するBLUETOOTH機器によって、動作が異なります。



ヒント

- スピーカーで音楽を聞いている場合でも、スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されていれば充電できます。ただし、USB ACアダプターの種類／仕様やスピーカーの使用状況によっては充電時間が長くなることがありますので、充電しながらスピーカーを使用するときは、音量を小さくしてください。または、いったん電源を切り、いっぱい充電してから使用してください。
- スピーカーはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のスマートフォン／携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、スピーカーで聞くことができます。
- スピーカーの音量を最大または最小に設定すると、💡（電源）ランプが3回点滅します。

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- 通信状態が悪いと、スピーカーの操作に対してBLUETOOTH機器が誤動作する場合があります。
- 高温環境下で使用した場合、内蔵充電電池を保護するために音量が下がることがあります。
- 電池残量が少なくなると、最大音量が下がります。
- BLUETOOTH機器によっては、機器側でも音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。

- スピーカーと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

関連項目

- [充電する](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

モノラル再生／ステレオ再生を切り替える

切り替え方法

お買い上げ時、音声出力はモノラル再生に設定されています。
“Sony | Music Center”で設定を変更できます。

- 1 スマートフォンなどの画面で【Music Center】をタッチして起動する。



Music Center

- 2 【SRS-XE300】をタッチする。

- 3 【設定】 - 【サウンド】 - 【Mono/Stereo】をタッチし、音声出力設定を選ぶ。

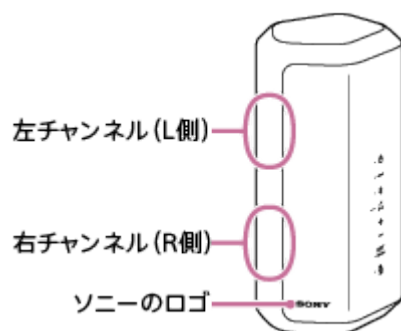
ヒント

- LDAC対応のBLUETOOTH機能をご使用の場合は、ステレオ再生に切り替えてください。

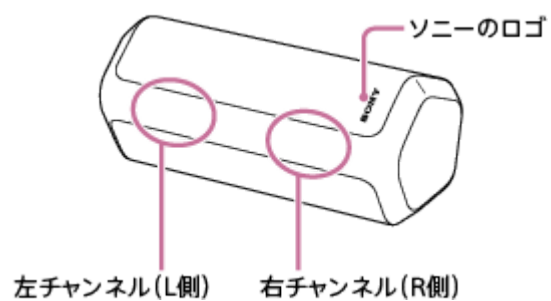
縦置き／横置きのしかた

スピーカーは縦置き／横置き両方に対応しています（マルチレイアウト）。
ステレオ再生に設定すると、ソニーのロゴに近いほうが右チャンネル（R側）になります。

縦置きのしかた



横置きのしかた



ソニーのロゴが右側に来るようにスピーカーを置きます。
ステレオ再生に設定を変更したときにおすすめの置きかたです。

ご注意

- スピーカーを縦置きにする場合は、平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、スピーカー自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因となることがあります。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

BLUETOOTH接続での音楽再生品質を切り替える（コーデック）

スピーカーのBLUETOOTH接続品質には、「音質優先」と「接続優先」があります。「音質優先」に設定すると、SBCだけでなくAACやLDAC*にも対応するため高品質での音楽再生が可能となり、「接続優先」に設定すると、より安定的なBLUETOOTH接続での音楽再生が実現します。お買い上げ時は「音質優先」に設定されています。

対応コーデック

- 音質優先（お買い上げ時の設定）：AACまたはLDAC*、SBCの中から、最適なコーデックが自動的に選択されます。
- 接続優先：SBCが選択されます。

* LDAC対応のBLUETOOTH機能をご使用の場合は、ステレオ再生に切り替えてください。

1 スピーカーの電源を入れる。

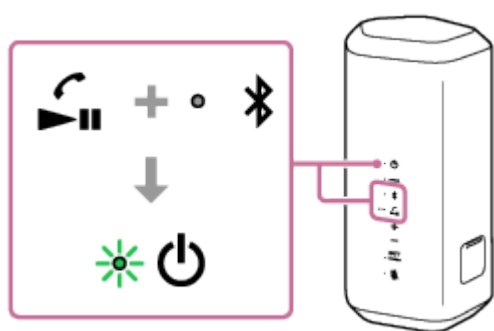
✳（BLUETOOTH）ランプが青色に点滅*します。

* 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、自動的にスピーカーが接続される場合があります。接続された場合は、✳（BLUETOOTH）ランプが青色に点灯します。

2 BLUETOOTH接続品質を切り替える。

スピーカーのボタンを使う場合

1. ▶||（再生）／☎（通話）ボタンと✳（BLUETOOTH）ボタンを同時に約2秒間押し続ける。
「接続優先」に切り替わると、⏻（電源）ランプが緑色に3回点滅します。
「音質優先」に切り替わると、⏻（電源）ランプが緑色に2回点滅します。
スピーカーとBLUETOOTH機器が接続されている場合は、自動で接続が切断されたあとに再度接続され、設定が有効になります。



ヒント

- スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されていれば、電源が切れている状態でもBLUETOOTH接続品質を切り替えることができます。

“Sony | Music Center”を使う場合

1. スマートフォンなどのBLUETOOTH機器を、スピーカーとペアリング（機器登録）して接続する。
BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れます。
2. スマートフォンなどの画面で [Music Center] をタッチして起動する。



Music Center

3. [SRS-XE300] をタッチする。
4. [設定] - [サウンド] - [Bluetooth接続品質] の順にタッチし、[音質優先] または [接続優先] を選択する。
5. BLUETOOTH機器との接続を一度切断してから再度接続する。
設定が有効になります。

ヒント

- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用しているときは、コーデックが自動的にSBCに切り替わります。

ご注意

- 「音質優先」に設定されているときは、お使いのBLUETOOTH機器の設定とご使用環境との組み合わせによって、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。その場合は「接続優先」に切り替えてください。

関連項目

- [BLUETOOTHスタンバイ機能（自動電源オン機能）を使う](#)
- [モノラル再生／ステレオ再生を切り替える](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

BLUETOOTH機器を使い終わったら、以下の手順のいずれかを行って、BLUETOOTH接続を切断してください。
BLUETOOTH接続が切断されると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 切断しました）が流れます。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- BLUETOOTH機器の電源を切る。
- スピーカーの電源を切る。

ヒント

- Stereo Pair機能を使用しているときは、どちらか一方のスピーカーの電源を切ると、もう一方のスピーカーの電源も自動的に切れて、BLUETOOTH接続が切断されます。
- BLUETOOTH機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBLUETOOTH接続を切断する場合があります。

関連項目

- [電源を切る](#)
- [オートスタンバイ機能（節電機能）について](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

2台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ（Stereo Pair機能）

Stereo Pair機能を使うには、2台のSRS-XE300が必要です。2台のスピーカーをBLUETOOTH接続して、よりパワフルな音楽を楽しめます。

BLUETOOTH接続されたスピーカーから左チャンネル（L側）の音を、もう1台のスピーカーから右チャンネル（R側）の音を出力して、2台のスピーカーでステレオ再生します。

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- 接続するすべてのスピーカーのソフトウェアを、最新バージョンにアップデートする。
（アップデート方法について詳しくは、「[内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)」をご覧ください。）
- 接続する2台のスピーカーが1 m以内に置かれていることを確認する。
- 音楽を再生中の場合は、再生を停止する。

Stereo Pair機能の接続および接続解除は“Sony | Music Center”から設定できます。

“Sony | Music Center”について詳しくは、下記のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/smcqa/>

ヒント

- Stereo Pair機能を使用しているときは、コーデックが自動的にSBCに切り替わります。
- スピーカーの電源を切っても、Stereo Pair機能は解除されません。再び電源を入れると、スピーカーはStereo Pair機能での接続を試みます。Stereo Pair機能を使用する場合は、1分以内にもう1台のスピーカーの電源を入れてください。ただし、2台のスピーカー両方のBLUETOOTHスタンバイ機能がオンの場合、片方のスピーカーの電源を再び入れると、自動的にもう1台のスピーカーの電源が入り、Stereo Pair機能で接続されます。

ご注意

- スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するBLUETOOTH機器とスピーカーの音量を小さくしておいてください。または、音楽再生を停止しておいてください。

関連項目

- [BLUETOOTHスタンバイ機能（自動電源オン機能）を使う](#)
- [“Sony | Music Center”をインストールする](#)
- [内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

複数台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ (Party Connect機能)

Party Connect機能に対応している複数台 (最大100台) のスピーカーをBLUETOOTH接続して、音楽再生を楽しめます。

Wireless Party Chain対応機器とは接続できません。

Party Connect 対応機器：

LSPX-S3、SRS-XP500、SRS-XG500、SRS-XG300、SRS-XB43、SRS-XB33、SRS-XB23、SRS-XE300、SRS-XE200

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- 接続するすべてのスピーカーのソフトウェアを、最新バージョンにアップデートする。
(アップデート方法について詳しくは、「[内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)」をご覧ください。)
- 接続するすべてのスピーカーが1 m以内に置かれていることを確認する。
- 音楽を再生中の場合は、再生を停止する。

1 “Sony | Music Center”を使ってParty Connect機能の設定をする。

“Sony | Music Center”について詳しくは、以下のURLをご覧ください。
<https://www.sony.net/smcqa/>

2 BLUETOOTH機器を再生して、適度な音量に調節する。

“Sony | Music Center”の代わりにスピーカー本体からParty Connect機能を設定するには

“Sony | Music Center”でParty Connect機能の設定ができない場合は、スピーカーのソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。スピーカー本体のボタンを使って設定できるようになります。

1. SRS-XE300を1台目のスピーカーとして設定する。

- スピーカーの電源を入れる。
- スピーカーにBLUETOOTH機器を接続する。
- スピーカーの✳ (BLUETOOTH) ボタンと+ (音量) ボタンを同時に約2秒間押し続ける。
スピーカーから通知音が流れます。

2. 2台目以降のスピーカーを設定する。

- スピーカーの電源を入れる。
- スピーカーの✳ (BLUETOOTH) ボタンと+ (音量) ボタンを同時に約2秒間押し続ける。^{*}
スピーカーから通知音が流れ、1台目のスピーカーと接続されます。

^{*} SRS-XE300での例です。お使いのスピーカーによって操作は異なります。詳しくは、お使いのスピーカーのヘルプガイドをご覧ください。

3. 設定が完了したら、BLUETOOTH機器を再生して適度な音量に調節する。

4. Party Connect機能を終了するときは、1台目のスピーカーの✖（BLUETOOTH）ボタンと+（音量）ボタンを同時に約5秒間押し続ける。

接続するBLUETOOTH機器やスピーカーを変更したり、Party Connect機能を終了したりするときは音楽を停止したあとに行ってください。

ヒント

- Party Connect機能を使用しているときは、コーデックが自動的にSBCに切り替わります。

ご注意

- Party Connect機能を使用して動画を視聴する場合、映像と音声にズレが発生する場合があります。

関連項目

- [“Sony | Music Center”をインストールする](#)
- [内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、スピーカーからワイヤレスで通話することができます。

1 スピーカーとパソコンをBLUETOOTH接続する。**2** パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。**3** ビデオ通話用アプリの設定^{*1}を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生用（A2DP）ではなく、通話用（HFP/HSP接続）を選びます。音楽再生用（A2DP接続）を選ばないと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話用（HFP/HSP接続）の［ヘッドセットイヤホン (SRS-XE300 Hands-Free)］^{*2}を選択します。（［スピーカー (SRS-XE300 Stereo)］^{*2}は音楽再生の接続です。）
- マイクの設定で、通話用（HFP/HSP接続）の［ヘッドセットマイク (SRS-XE300 Hands-Free)］^{*2}を選択します。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話用（HFP/HSP接続）の［ヘッドセットイヤホン (SRS-XE300 Hands-Free)］^{*2}や［ヘッドセットマイク (SRS-XE300 Hands-Free)］^{*2}、音楽再生用（A2DP接続）の［スピーカー (SRS-XE300 Stereo)］^{*2}を選択できず、［SRS-XE300］のみ表示される場合があります。その場合は、［SRS-XE300］を選択してください。
- その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

^{*1} お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。

^{*2} 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話用（HFP/HSP接続）の［ヘッドセットイヤホン (SRS-XE300 Hands-Free)］または［ヘッドセットマイク (SRS-XE300 Hands-Free)］を選択できない場合は、パソコンの設定から［ヘッドセットイヤホン (SRS-XE300 Hands-Free)］または［ヘッドセットマイク (SRS-XE300 Hands-Free)］を選択し、接続してください。詳しくは、以下をご覧ください。

－ [パソコンをBLUETOOTH接続する \(Windows®\)](#)

－ [パソコンをBLUETOOTH接続する \(Mac\)](#)

- Macでビデオ通話する場合は、音楽再生用（A2DP）および通話用（HFP/HSP接続）の両方を使用するため、どちらかを選択する必要はありません。

ご注意

- スピーカーがMacおよびスマートフォンとマルチポイント接続されていると、ビデオ通話アプリが正しく機能しない場合があります。その場合は、スピーカーとスマートフォンのBLUETOOTH接続を切断してください。

関連項目

- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Windows®）](#)
- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Mac）](#)
- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [故障かな？と思ったら](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、スピーカーでハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。

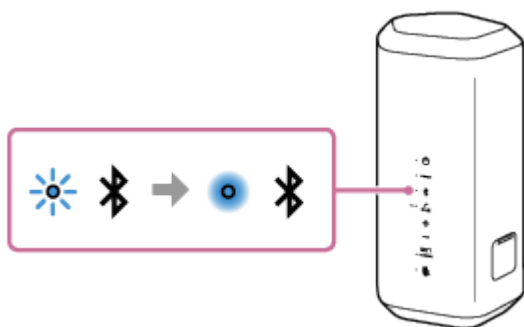
着音について

着信があると、再生中でも音楽が一時停止し、スピーカーから着信音が聞こえます。スピーカーから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のように異なります。

- スピーカーの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBLUETOOTH接続専用の着信音

1 スピーカーとスマートフォン／携帯電話を接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、✱（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。

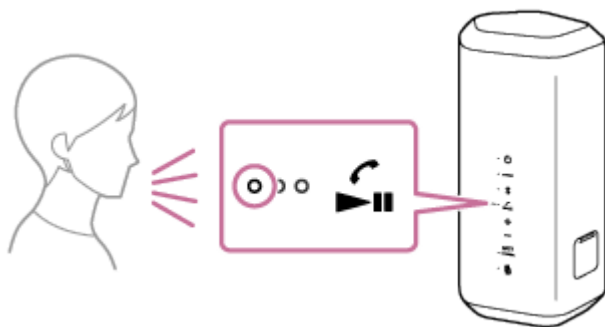


Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は

✱（BLUETOOTH）ランプが青色に点滅しているスピーカーと接続してください。以降の操作および通話中の操作は、スマートフォン／携帯電話と接続したスピーカーで行います。

2 ▶||（再生）／☎（通話）ボタンを押して、電話を受ける。

スピーカーのマイクに向かって話してください。
着信があると、再生中の音楽が一時停止し、スピーカーから着信音が聞こえます。

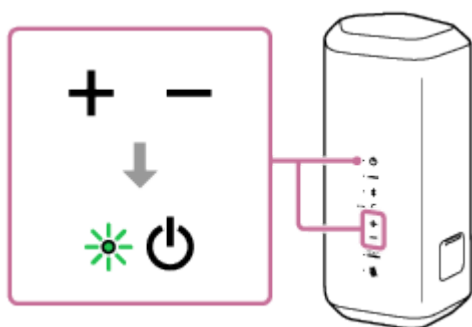


スピーカーから着信音が聞こえない場合は

HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話の接続状況を確認してください。

3 着信中もしくは通話中にスピーカーの+/-（音量）ボタンか、スマートフォン／携帯電話を操作して音量を調節する。

スピーカーの+/-（音量）ボタンまたはBLUETOOTH機器を操作して音量を調節すると、（電源）ランプが1回または3回点滅します。

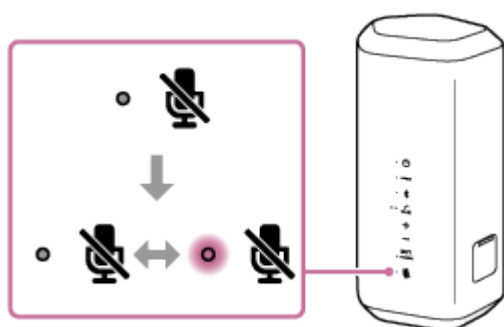


マイクをオフにする場合は

スピーカーの（マイクミュート（消音））ボタンを押します。

通話中に（マイクミュート（消音））ボタンを押すと音声ガイダンス（マイクオフ）が流れ、（マイクミュート（消音））ランプが赤色に点灯し、マイクがオフに切り替わります。

もう一度押すと、音声ガイダンス（マイクオン）が流れ、（マイクミュート（消音））ランプが消灯し、マイクがオンになります。



4 通話が終了したら、▶||（再生）／（通話）ボタンを押して電話を切る。

音楽再生中は、再生に戻ります。スマートフォン／携帯電話を操作して電話を切った場合も、音楽再生中は、再生に戻ります。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFPまたはHSP接続の場合、スマートフォン／携帯電話を操作して、音声通信をスピーカーに切り替えてください

い。

- 通話相手に自分の声が聞こえない、または聞こえにくい場合は、スピーカーに近づいてマイクに向かって話してください。
- スピーカーでは、通話時と音楽再生時の音量は別々に設定されます。
- “Sony | Music Center”を使って、音声ガイダンス（マイクオフ／マイクオン）のオン／オフを切り替えることができます。

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は、（BLUETOOTH）ランプが青色に点灯しているスピーカーからのみ、通話の音声を出力します。
- 一部のスマートフォン／携帯電話では、着信時に再生中の音楽が一時停止しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、スピーカーから50 cm以上離してお使いください。スピーカーとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- スマートフォン／携帯電話の機種、インストールされているOSやアプリによっては、ハンズフリー通話の機能が正しく使用できない場合があります。
- マイクミュート（消音）機能は、スピーカーのマイクをオフにします。お使いのスマートフォン／携帯電話やパソコンのソフトのマイク設定とは連動しません。

関連項目

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [電話をかける](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

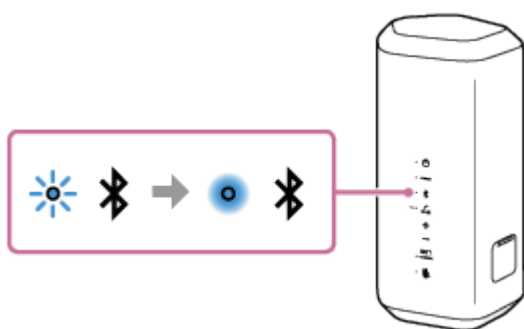
電話をかける

お使いのスマートフォン／携帯電話がHFP（Hands-free Profile）またはHSP（Headset Profile）に対応していれば、スピーカーでハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 スピーカーとスマートフォン／携帯電話を接続する。

BLUETOOTH接続が完了すると、スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース 接続しました）が流れ、✱（BLUETOOTH）ランプが点滅から点灯に変わります。

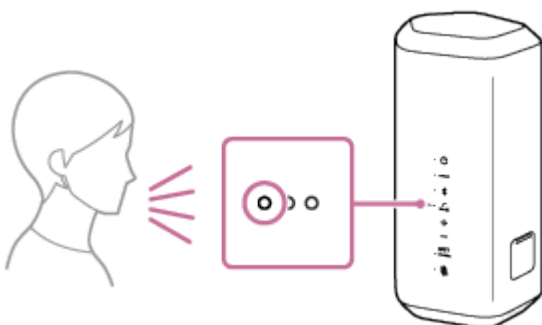


Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は

✱（BLUETOOTH）ランプが青色に点滅しているスピーカーと接続してください。以降の操作および通話中の操作は、スマートフォン／携帯電話と接続したスピーカーで行います。

2 お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

発信すると、再生中の音楽が一時停止し、スピーカーから発信音が聞こえます。相手先に電話が通じたら、スピーカーのマイクに向かって話してください。

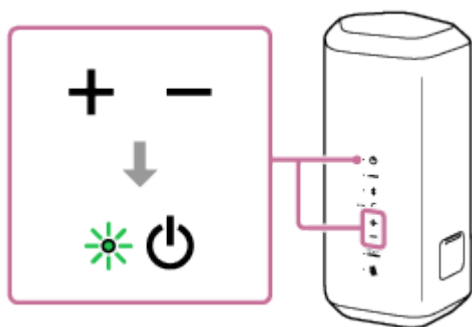


スピーカーから発信音が聞こえない場合は

- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話の接続状況を確認してください。
- スピーカーの▶||（再生）／☎（通話）ボタンを約2秒間押し続けて、スピーカーに音声を切り替えます。

3 発信中もしくは通話中にスピーカーの+/-（音量）ボタンか、スマートフォン／携帯電話を操作して音量を調節する。

スピーカーの+/-（音量）ボタンまたはBLUETOOTH機器を操作して音量を調節すると、（電源）ランプが1回または3回点滅します。

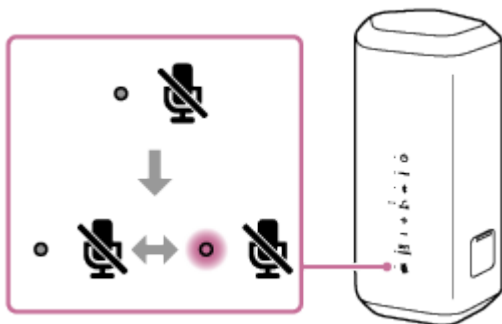


マイクをオフにする場合は

スピーカーの（マイクミュート（消音））ボタンを押します。

通話中に（マイクミュート（消音））ボタンを押すと音声ガイダンス（マイクオフ）が流れ、（マイクミュート（消音））ランプが赤色に点灯し、マイクがオフに切り替わります。

もう一度押すと、音声ガイダンス（マイクオン）が流れ、（マイクミュート（消音））ランプが消灯し、マイクがオンになります。



4 通話が終了したら、（再生）／（通話）ボタンを押して電話を切る。

音楽再生中は、再生に戻ります。スマートフォン／携帯電話を操作して電話を切った場合も、音楽再生中は、再生に戻ります。

ヒント

- 通話相手に自分の声が聞こえない、または聞こえにくい場合は、スピーカーに近づいてマイクに向かって話してください。
- スピーカーでは、通話時と音楽再生時の音量は別々に設定されます。
- “Sony | Music Center”を使って、音声ガイダンス（マイクオフ／マイクオン）のオン／オフを切り替えることができます。

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は、（BLUETOOTH）ランプが青色に点灯しているスピーカーからのみ、通話の音声を出力します。
- 一部のスマートフォン／携帯電話では、発信時に再生中の音楽が一時停止しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、スピーカーから50 cm以上離してお使いください。スピーカーとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。

- マイクミュート（消音）機能は、スピーカーのマイクをオフにします。お使いのスマートフォン／携帯電話やパソコンのソフトのマイク設定とは連動しません。

関連項目

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [電話を受ける](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

“Sony | Music Center”でできること

“Sony | Music Center”とは、スマートフォンなどから、“Sony | Music Center”対応のソニー製オーディオ機器を操作するためのアプリです。

“Sony | Music Center”について詳しくは、下記のURLをご覧ください。

<https://www.sony.net/smcqa/>

できること

- Party Connect機能の設定
- Stereo Pair機能の設定、右チャンネル（R側）と左チャンネル（L側）の切り替え
- スピーカーの内蔵充電電池の電池残量確認
- 電源オプションの設定（外音ノイズセンシング、STAMINA(電池優先)、いたわり充電、電池残量 音声通知、電源オン/オフ 通知音、マイクオン/オフ 通知音、オートスタンバイ、Bluetoothスタンバイ）
- Bluetooth接続品質（音質優先／接続優先）の切り替え
- モノラル再生（お買い上げ時の設定）とステレオ再生の切り替え
- マルチポイント接続（2台のBLUETOOTH機器と同時に接続）の管理
- スピーカーのソフトウェアアップデートおよびバージョン確認
- BLUETOOTH機器の接続および切断などの操作

など

ご注意

- オーディオ機器によって“Sony | Music Center”でできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。
- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- “Sony | Music Center”は必ず最新版をお使いください。スピーカーとスマートフォンなどをBLUETOOTH接続できない、もしくは音が出ないなどの不具合が起きた場合は、“Sony | Music Center”をアンインストールして、再度BLUETOOTH接続をお試しください。詳しくは、Google Play（Playストア）またはApp Storeをご覧ください。
- “Sony | Music Center”と“Music Center for PC”とは異なりますので、ご注意ください。

関連項目

- [“Sony | Music Center”をインストールする](#)
- [充電する](#)
- [充電電池の消費電力を抑えて使う](#)
- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [モノラル再生／ステレオ再生を切り替える](#)

- BLUETOOTH接続での音楽再生品質を切り替える（コーデック）
- 2台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ（Stereo Pair機能）
- 複数台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ（Party Connect機能）
- 内蔵ソフトウェアをアップデートする

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

“Sony | Music Center”をインストールする

Google Play（Playストア）またはApp Storeから“Sony | Music Center”をスマートフォンなどにインストールしてください。Apple iOSの機器にインストールする場合、iOS 11.0以上の機器に対応しています。iOS 10.xより前の機器には対応していません。

- 1 Google Play（Playストア）またはApp Storeから“Sony | Music Center”をダウンロードしてインストールする。



Sony Music Center



- 2 インストールが終了したら、“Sony | Music Center”を起動する。

ご注意

- “Sony | Music Center”と“Music Center for PC”とは異なりますので、ご注意ください。
- “Sony | Music Center”は必ず最新版をお使いください。スピーカーとスマートフォンなどをBLUETOOTH接続できない、もしくは音が出ないなどの不具合が起きた場合は、“Sony | Music Center”をアンインストールして、再度BLUETOOTH接続をお試しください。詳しくは、Google Play（Playストア）またはApp Storeをご覧ください。

関連項目

- [“Sony | Music Center”でできること](#)

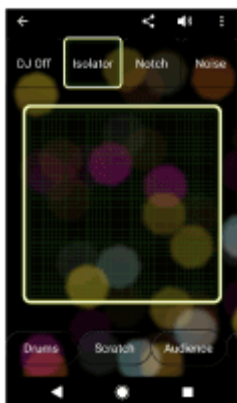
ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

“Fiestable”でできること

“Fiestable”とは、スマートフォンなどから、“Fiestable”対応のソニー製オーディオ機器を操作するためのアプリです。

| できること

- DJ Control
Isolatorなどの効果音やドラム／歓声などのサンプリング音を、再生中の音楽に入れることができます。



- Motion Control
スマートフォンを振って音を操作できます。



ヒント

- オーディオ機器によって“Fiestable”でできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

“Fiestable”をインストールする

Google Play（Playストア）またはApp Storeから“Fiestable”をスマートフォンなどにインストールしてください。Apple iOSの機器にインストールする場合、iOS 11.0以上の機器に対応しています。iOS 10.xより前の機器には対応していません。

- 1 Google Play（Playストア）またはApp Storeから“Fiestable”をダウンロードしてインストールする。



Fiestable 

- 2 インストールが終了したら、“Sony | Music Center”から“Fiestable”を起動する。



ご注意

- “Fiestable”は必ず最新版をお使いください。

関連項目

- “Fiestable”でできること

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

音声アシスト機能（Google™アプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、スピーカーのマイクから声でAndroid搭載スマートフォンを操作することができます。

ここではGoogleアプリの使いかたを説明します。

1 【アシストと音声入力】で【アシストアプリ】の選択をGoogleアプリにする。

Android搭載スマートフォンで、[設定] - [アプリと通知] - [詳細設定] - [標準のアプリ] - [アシストと音声入力] を選択し、[アシストアプリ] をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくはAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリについて詳しくはAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページ、またはGoogle Play (Playストア) のウェブページをご覧ください。

ご注意

- 最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。
- Android搭載スマートフォンの仕様により、スピーカーからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

2 スピーカーをAndroid搭載スマートフォンにBLUETOOTH接続する。

3 Android搭載スマートフォンにBLUETOOTH接続した状態で、待受け中や音楽再生中に (再生) / (通話) ボタンを約2秒間押し続ける。

Googleアプリが起動し起動音が聞こえます。

4 スピーカーのマイクを通してGoogleアプリに頼みごとをする。

Googleアプリと連携しているアプリなど、詳しくはAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- Android搭載スマートフォンで [OK Google] を有効にし、スピーカーのマイクから「OK Google」と話しかけても、Googleアプリを起動することはできません。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、スピーカーのマイクから声でiPhoneを操作することができます。
ここではSiriの使いかたを説明します。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで〔設定〕－〔Siriと検索〕の順に選択し、〔“Hey Siri”を聞き取る〕をオンにします。
上記の操作は一例です。詳しくはiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriについて詳しくはiPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

2 スピーカーをiPhoneにBLUETOOTH接続する。

3 iPhoneにBLUETOOTH接続した状態で、待受け中や音楽再生中に▶||（再生）／📞（通話）ボタンを約2秒間押し続ける。

Siriが起動し起動音が聞こえます。

4 スピーカーのマイクを通してSiriに頼みごとをする。

Siriと連携しているアプリなど、詳しくはiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- iPhoneで〔“Hey Siri”を聞き取る〕をオンにして、スピーカーのマイクから「Hey Siri」と話しかけても、Siriを起動することはできません。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

ランプ表示

CHARGE（充電）ランプ（オレンジ*）

* いたわり充電モードがオンのときは、白色に光ります。

消灯	充電が完了しました。
点灯	充電中です。
ゆっくり点滅	内蔵充電電池の電池残量が20%以下になっています。スピーカーを充電してください。
3回点滅してから消灯	電源を入れた後、ランプが3回点滅してから電源が切れた場合は、内蔵充電電池の残量がありません。スピーカーを充電してください。

ご注意

- スピーカーの電源が入っている場合でも、スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されていれば充電できます。
ただし、使用状況によっては充電時間が長くなることがありますので、充電するときはスピーカーの電源を切ることをおすすめします。
- USB ACアダプターの種類／仕様によっては、大音量で使用すると、電源コンセントにつないでいても、内蔵充電電池の残量が減ったり、スピーカーの電源が切れたりする場合がありますが故障ではありません。この場合は、いったん電源を切り、いっぱい充電してから使用してください。
- 周りの温度が非常に低いところや高いところでは、安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。使用可能温度（5℃から35℃）の範囲内でUSBケーブルを抜き差ししてから、もう一度充電してください。

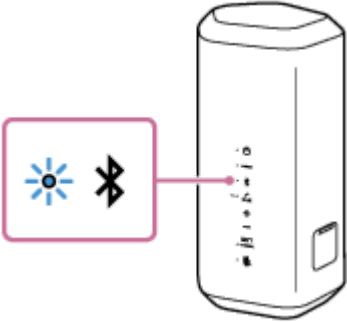
⏻（電源）ランプ

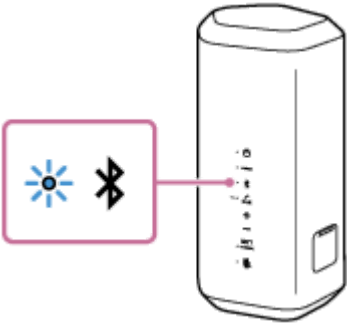
消灯	電源が入っていません。
点灯（緑）	電源が入っています。
点灯（オレンジ）	電源が入っていません。BLUETOOTHスタンバイモードに設定されています。

点滅（緑、オレンジ）	● +/−（音量）ボタンを押すと、1回点滅（緑）します。 ● +/−（音量）ボタンの操作時に、音量が最小（0）または最大（音楽再生時50／通話時15）になると3回点滅（緑）します。 ● +（音量）ボタンと−（音量）ボタンを同時に約5秒間押し続け、オートスタンバイ機能がオフに切り替わると、3回点滅（オレンジ）します。 ● +（音量）ボタンと−（音量）ボタンを同時に約5秒間押し続け、オートスタンバイ機能がオンに切り替わると、2回点滅（オレンジ）します。 ● ▶ （再生）／☎（通話）ボタンと✱（BLUETOOTH）ボタンを同時に約2秒間押し続け、BLUETOOTH接続品質が「接続優先」に切り替わると、3回点滅（緑）します。 ● ▶ （再生）／☎（通話）ボタンと✱（BLUETOOTH）ボタンを同時に約2秒間押し続け、BLUETOOTH接続品質が「音質優先」に切り替わると、2回点滅（緑）します。 ● アップデートの進捗によって、⏻（電源）ランプ（緑）の点滅状態が変わります（点滅回数が5回、4回、1回、消灯*）。 ● ソフトウェアアップデート完了後に初めて電源を入れると、✱（BLUETOOTH）ランプ（青）と同時に3回点滅（緑）します。
2回ずつ点滅（オレンジ）	充電中に異常を検出しています。すぐに充電を中止し、しばらく待ってからもう一度充電を行ってください。詳しくは、「 充電に関するご注意 」をご確認ください。
4回ずつ点滅（オレンジ）	● “Sony Music Center”からアップデートがキャンセルされました。 ● ソフトウェアアップデートがエラーになっています。

* 状況によって、すべての点滅状態を確認できない場合があります。

✱（BLUETOOTH）ランプ（青）

点灯	BLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されています。
点滅	● “Sony Music Center”からアップデートがキャンセルされました。 ● ソフトウェアアップデートがエラーになっています。 ● ソフトウェアアップデート完了後に初めて電源を入れると、⏻（電源）ランプ（緑）と同時に3回点滅します。
2回ずつ点滅	BLUETOOTHペアリング（機器登録）待ち状態です。 

ゆっくり点滅	BLUETOOTH接続待ち状態です。 
---------------	---

STAMINAランプ（白）

点灯	STAMINAがオンに設定されています。
消灯	STAMINAがオフに設定されています。
2回点滅	外音ノイズセンシング機能がオンに設定されました。
3回点滅	外音ノイズセンシング機能がオフに設定されました。

🔇（マイクミュート（消音））ランプ（赤）

消灯	スピーカーのマイクがオンの状態です。
点灯	スピーカーのマイクがオフの状態です。

関連項目

- [各部の名前](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

内蔵ソフトウェアをアップデートする

スピーカーのソフトウェアの最新バージョンが公開されると、以下の方法で、お使いのスピーカーのソフトウェアをアップデート（更新）できます。

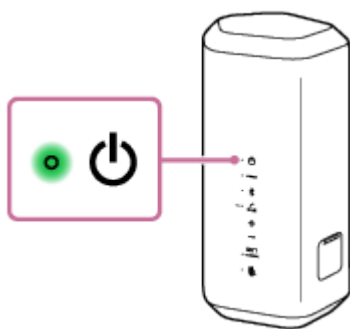
アップデートすることで、新しい機能が追加されたり、より便利かつ安定してご使用になることができます。

1 スピーカーを市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続する。

内蔵充電電池でご使用の場合はアップデートできません。

2 スピーカーの電源を入れる。

⏻（電源）ランプが緑色に点灯します。

**3 スマートフォンなどの画面で [Music Center] をタッチして起動する。**

Music Center

4 [SRS-XE300] をタッチする。

スピーカーのソフトウェアの最新バージョンが公開されると、“Sony | Music Center”の画面上にアップデートのお知らせが表示されます。

5 画面の指示に従って操作し、アップデートする。

アップデートの進捗によって、⏻（電源）ランプ（緑）の点滅状態が変わります（点滅回数が5回、4回、1回、消灯）。

状況によって、すべての点滅状態を確認できない場合があります。

ソフトウェアアップデート完了後に初めて電源を入れると、⏻（電源）ランプと📶（BLUETOOTH）ランプが3回点滅し、アップデート完了をお知らせします。

6 スピーカーのソフトウェアのバージョンを確認する。

“Sony | Music Center”の [SRS-XE300] - [設定] - [システム] をタッチする。
「SRS-XE300」の下に表示された「XXXX」がソフトウェアのバージョンです。

ヒント

- アップデート中にエラーが発生した場合は、スピーカーの電源を一度オフにしてから再度オンにしてください。スピーカーがエラー状態から復帰します。

ご注意

- アップデートができない場合は、内蔵充電電池の電池残量が40%以上になるまで充電を行ってください。

関連項目

- [充電する](#)
- [ランプ表示](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

使用上のご注意

安全について

- スピーカーに付属の「使用上のご注意／主な仕様・保証書」をご確認ください。
- 型名（MODEL）などの重要な情報は、本機の背面（キャップの裏側）に表示してあります。

取り扱いについて

- 持ち運ぶときは、手からすべり落ちないように、底面に手を添えるなどしてしっかりと持ってください。落下による怪我や破損、家財に損害を与えるおそれがあります。
- 次のような場所には置かないでください。故障の原因になる場合があります。
 - － 直射日光の当たる場所、照明器具の下、暖房器具の近くやサウナなど、温度の高い所
 - － 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
 - － ほこりの多い所
 - － 激しい振動のある所
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、スピーカー自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 本機は防磁型ではありません。本機の上や近くに時計や磁気を利用したカード／テープ類は置かないでください。また、持ち運ぶ際にもご注意ください。

その他のご注意

- 周りの温度が非常に高いところや低いところでは、安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。使用可能温度（5℃から35℃）の範囲内でUSBケーブルを抜き差ししてから、もう一度充電を行ってください。
- スピーカーを充電中または、長時間お使いになると、スピーカーの温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 周りの温度が高いところに置いている場合や、スピーカーを充電中に、音楽を再生すると、安全のために音量を自動調整することがあります。
- スピーカーと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- 長期間使用しない場合、内蔵充電電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電を行ってください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、もう一度このヘルプガイドをよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

充電に関するご注意

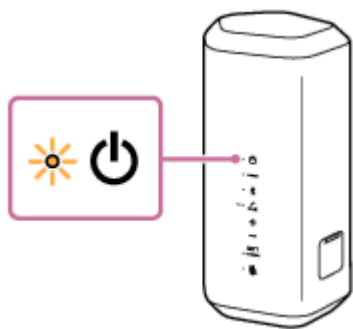
内蔵リチウムイオン充電電池の寿命について

- 長期間使用しない場合、内蔵充電電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電してください。
- 長期間使用しなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 内蔵充電電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ、内蔵充電電池の容量は少しずつ低下します。いっばいに充電しても、使用できる時間が極端に短くなったと感じたときには、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 使用可能時間が極端に短くなった場合は、内蔵充電電池の寿命と考えられます。
- 内蔵充電電池の寿命は、保管方法、使用状況や環境によって異なります。

警告

スピーカーは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると、（電源）ランプ（オレンジ）が2回ずつ点滅します。

- 使用温度範囲（5℃～35℃）を超える場合
- 充電が長時間続いている場合



内蔵充電電池の異常が検出された場合は、すぐに充電を中止し、しばらく待ってからもう一度充電を行ってください。それでも症状が改善されない場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

- 充電時間は内蔵充電電池の使用状態により異なります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。とくに真冬など季節によっては、室内でも5℃以下になる場合もありますのでご注意ください。
- 充電中は、スピーカーが温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電氣的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- スピーカーの電源が入っている場合でも、スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されていれば充電できます。
ただし、使用状況によっては充電時間が長くなる場合がありますので、充電するときはスピーカーの電源を切ることをおすすめします。

- USB充電対応端子が標準装備されたパソコンに接続しても充電できます。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。また、自作パソコンは動作保証対象外です。
- 周りの温度が非常に低いところや高いところでは、安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。使用可能温度（5℃から35℃）の範囲内でUSBケーブルを抜き差ししてから、もう一度充電してください。
- 周りの温度が高いところでは、内蔵充電池を保護するため充電が停止するか、または音量が小さくなります。
- USBハブにて拡張されたUSB端子は、ロゴ認証を取得したセルフパワーのUSBハブ以外での動作保証はいたしません。
- 電源コンセントに接続していないノートパソコンとスピーカーを接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。スピーカーを接続したまま長時間放置しないでください。パソコンのバッテリーが切れます。

関連項目

- [充電する](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

スピーカーを廃棄するには



日本国内での充電式電池の廃棄について

スピーカーに内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。



Li-ion

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

防水・防じんについて

スピーカーの防水・防じん性能について

スピーカーのキャップをしっかりと閉めた状態で、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の“浸水に対する保護等級”であるIPX7^{*1}相当の防水性能^{*3}、“外来固形物に対する保護等級”であるIP6X^{*2}相当の防じん性能^{*3}を有しています。

防水の対象となる液体

対象	真水、水道水、プールの水、海水
非対象	上記以外の液体（例：石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水など）

*1 JIS IPX7相当とは：深さ1 mの水中に静かに沈め、30分間放置した後でも、本体機能を保ちます。

*2 JIS IP6X相当とは：防じん試験用粉じん（直径75 μm以下）が入った装置にスピーカーを8時間入れてかくはんさせ、取り出したときにスピーカーの内部に粉じんが浸入しない機能を有することを意味します。

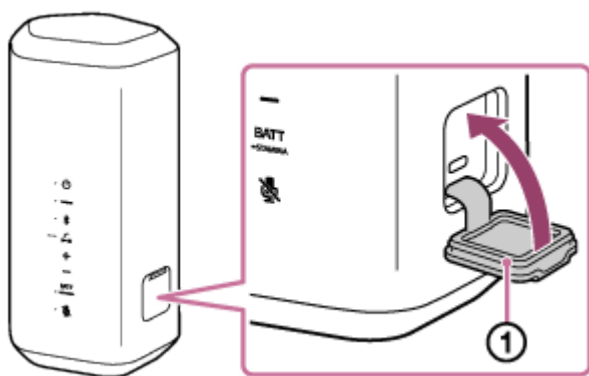
*3 同梱品および本体の各端子（USB）は、防水・防じん仕様ではありません。火災や感電の危険を減らすために、各端子（USB）を使用している間は、本体を水や水滴にさらさないでください。花瓶やその他の液体の入った容器を本体の上に置かないでください。

防水・防じん性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水や粉じんの浸入による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防水・防じん性能を保つために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用ください。

- スピーカーはMIL-STD810H Method 516.8-Shockに準拠した厚さ5 cmの合板上での高さ1.22 mからの落下テストをクリアしています。ただし、すべての状態において無破損・無故障・防水・防じん性能を保証するものではありません。スピーカーを落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水・防じん性能劣化の原因となることがあります。
- このスピーカーは耐水圧設計ではありません。シャワーなど、高い水圧がかかる場所でのご使用は故障の原因となりますので避けてください。
- 高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなど熱風を直接あてないでください。またサウナや暖房器具の近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。
- キャップ（①）の取り扱いに注意してください。キャップは、防水・防じん性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用の際は完全に閉まっていることを確認してください。異物の付着などによりすき間があつて完全に閉まっていない場合には、防水・防じん性能を保持できないばかりか、内部に水や粉じんが入り込み故障の原因になる場合もあります。



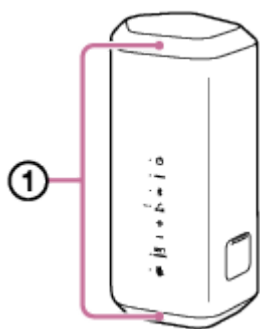
5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

スピーカーのお手入れのしかた

このスピーカーのファブリック（布）部分ははっ水処理を施してありますが、下記のお手入れをしていただくことにより、より長く快適にご使用いただけます。

- 表面が汚れたときは、すみやかに真水（水道水など）で洗い、汚れを落としてください。付着したまま放置するとスピーカー表面の変色や劣化、故障の原因となります。
例：
 - － 海やプールなどで使用し、塩分や砂などが付着した場合
 - － 異物（日焼け止め・サンオイルなど）を付着させた場合
- スピーカーを濡れたまま放置しておくと、水アカやカビなどにより製品が汚れる可能性があります。使用後は水滴を拭き取り、風通しの良い場所で水分がなくなるまで乾燥させることをおすすめします。
- スピーカーやパッシブラジエーター部分（①）に水が入ると音質が変化することがありますが、故障ではありません。表面の水分を拭き取って、乾いた柔らかい布の上に置き、スピーカー内部にたまった水を出してください。さらに風通しの良い場所で水分がなくなるまで乾燥させてください。



ご注意

- 表面が汚れたときに、中性洗剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。ファブリック（布）部分のはっ水機能などに影響します。
- 寒冷地等では、水滴が付着したまま放置すると水滴が凍結し故障の原因となりますので、スピーカーに水滴が付着した場合、乾いた柔らかい布などで必ず拭き取ってください。
- ファブリック（布）部分などに砂粒などが入り込んだときは、丁寧に取り除いてください。掃除機などは絶対に使用しないでください。スピーカーユニットなどをいためるおそれがあります。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、およそ30 m程度までの距離で通信を行うことができます。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。スピーカーは下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：BLUETOOTH標準規格Ver. 5.2

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)：音量の調節および音楽の再生／一時停止／曲送り／曲の頭出しなどをする。
- HSP (Headset Profile)＊：通話およびスマートフォン／携帯電話を操作する。
- HFP (Hands-free Profile)＊：ハンズフリーで通話およびスマートフォン／携帯電話を操作する。

＊ スマートフォン／携帯電話のBLUETOOTH機能がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFP (Hands-free Profile) を使用してください。

通信有効範囲

見通し距離で約30 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではスピーカーおよびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器がスピーカーと同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、スピーカー側での再生がわずかに遅れます。
- スピーカーは、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。

- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- スピーカーと接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- スピーカーと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ラジオやチューナーを内蔵した機器とBLUETOOTH接続すると、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。スピーカーとこれらの機器をBLUETOOTH接続でお使いいただくことはできません。
- スピーカーは、TVやラジオ・チューナーなどの機器から離してお使いください。これらの機器の近くでスピーカーを使うと、TVやラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<https://rd1.sony.net/help/speaker/sl/22/>
- 本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。
<https://oss.sony.net/Products/Linux/>
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。
- 「Made for Apple」 バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

- 第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

商標について

- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- ウォークマン[®]、WALKMAN[®]、WALKMAN[®]ロゴ、LDAC[™]は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- BLUETOOTH[®]ワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Apple、Apple logo、iPhone、iPod、iPod touch、Mac、macOSおよびSiriは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- 「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- USB Type-C[®]およびUSB-C[®]は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では[™]、[®]マークは明記していません。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは／よくある質問」で調べる。
- スピーカーを充電する。
充電することで問題が解決することがあります。
- スピーカーをリスタート（再起動）する。
- スピーカーを初期化する。
音量調節などをお買い上げ時の設定に戻し、すべてのペアリング（機器登録）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。
<https://www.sony.jp/support/active-speaker/>
BLUETOOTHの接続対応機種情報、サポート情報、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店までお問い合わせください。

関連項目

- [スピーカーをリスタート（再起動）する](#)
- [スピーカーを初期化する](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

充電ができない

- 市販のUSB ACアダプターをお使いの場合は、USBケーブルがスピーカーおよびUSB ACアダプターにしっかり接続されているか確認してください。さらに、USB ACアダプターが電源コンセントにしっかり接続されているか確認してください。
- 市販のUSB ACアダプターをお使いの場合は、出力電流1.5 A以上を供給できる機器を使用してください。500 mA以上1.5 A未満の機器も使用できますが、充電時間が非常に長くなることがあります。充電するときはスピーカーの電源を切ることをおすすめします。出力電流500 mA未満の機器からの充電は保証していません。周囲の温度や使用状況によっても充電時間が変わる場合があります。
- このスピーカーは出力電流3.0 Aまたは1.5 Aが供給可能なUSB ACアダプターに対応しています。出力電流3.0 AのUSB ACアダプターをご使用の際は、充電電流3.0 Aに対応したUSB Type-C[®]ケーブル（USB規格準拠品）をご使用ください。付属のUSBケーブルの対応充電電流は最大1.5 Aです。これ以外の機器からの充電は保証していません。周囲の温度や使用状況によっても充電時間が変わる場合があります。
- 周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。とくに真冬など季節によっては、室内でも5℃以下になる場合もありますので、ご注意ください。
- スピーカーに接続したUSBケーブルをUSB充電対応端子が標準装備されたパソコンに接続しても充電できます。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。また、自作パソコンは動作保証対象外です。
- USB ACアダプターの種類／仕様によっては、大音量で使用すると、電源コンセントにつないでいても、内蔵充電電池の残量が減ったり、スピーカーの電源が切れたりする場合がありますが故障ではありません。この場合は、いったん電源を切り、いっばいに充電してから使用してください。

関連項目

- [充電する](#)
- [ランプ表示](#)
- [充電に関するご注意](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300**電源が入らない、電源が切れてしまう**

- 内蔵充電電池の残量がない、もしくは少なくなった可能性があります。スピーカーを市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続して充電してください。
- USB ACアダプターの種類／仕様によっては、大音量で使用すると、電源コンセントにつないでいても、内蔵充電電池の残量が減ったり、スピーカーの電源が切れたりする場合がありますが故障ではありません。この場合は、いったん電源を切り、いっぱい充電してから使用してください。
- オートスタンバイ機能が働いた可能性があります。オートスタンバイ機能をオフに切り替えてご使用ください。

関連項目

- [充電する](#)
- [オートスタンバイ機能（節電機能）について](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300**音が出ない、片方の音が出ない、音が小さい、音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる、通話相手の声が聞こえない、声が小さい**

- 接続先の機器とスピーカーの電源が入っていることを確認してください。
- 接続先の機器とスピーカーの音量を確認してください。
- 接続するBLUETOOTH機器によっては、BLUETOOTH機器側で音量を調節しても、スピーカーの音量が変わらない（Ⓛ（電源）ランプが点滅しない）ことがあります。
スピーカーの音量が小さいときは、BLUETOOTH機器を適度な音量に調節したあとに、スピーカー本体の+/-（音量）ボタンで音量を調節してください。
- 接続先の機器が再生されていることを確認してください。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、パソコンを操作してHFPやHSPでのBLUETOOTH接続に切り替えてください。
ビデオ通話時は、通信回線の影響により、音質が悪くなる場合があります。
- スピーカーのマイクがミュート設定になっていないか確認してください。
- パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBLUETOOTHになっていることを確認してください。
- スピーカーとBLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されていることを確認してください。
- BLUETOOTH機器とスピーカーをもう一度ペアリング（機器登録）してください。
- Stereo Pair機能やParty Connect機能で複数台のスピーカーをBLUETOOTH接続するときには、すべてのスピーカーのソフトウェアを、最新バージョンにアップデートしてください。
- 接続先の機器のイコライザー機能がオフになっていることを確認してください。
- スピーカーを電子レンジや無線LANなどから離してください。
- スピーカーにBLUETOOTH機器を近づけてください。スピーカーとBLUETOOTH機器との間に障害物がある場合は、移動させてください。
- CHARGE（充電）ランプがゆっくり点滅し始めたら、いったん電源を切り、いっぱい充電してから使用してください。
- ラジオやチューナーを内蔵した機器とBLUETOOTH接続すると、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。
スピーカーとこれらの機器をBLUETOOTH接続でお使いいただくことはできません。
- スピーカーは、TVやラジオ・チューナーなどの機器から離してお使いください。これらの機器の近くでスピーカーを使うと、TVやラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。
- Stereo Pair機能、Party Connect機能または通話機能を使用しているとき、BLUETOOTH機器にマウスやキーボードなど他のBLUETOOTH機器が接続されている場合は、他のBLUETOOTH機器との接続を切断してください。
- BLUETOOTH機器によってBLUETOOTH接続品質を変更できる機器があります。その場合、BLUETOOTH接続品質を「接続優先（SBC）」にしてください。詳しくはお使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーのBLUETOOTH接続品質を「接続優先（SBC）」に切り替えてください。

- “Sony | Music Center”の最新版をスマートフォンなどにインストールしてお使いください。最新版がインストールできない場合や、スピーカーとスマートフォンなどがBLUETOOTH接続できない場合は、“Sony | Music Center”を一度アンインストールしてから、もう一度インストールしてください。
- 通話中にスピーカーから音が出るようになっているか、BLUETOOTH機器の音声設定を確認してください。
- 接続しているBLUETOOTH機器で使用しているアプリによっては、音が出ない場合があります。その場合、アプリを一度オフにしてから再度オンにすることにより症状が改善される場合があります。

関連項目

- [充電する](#)
- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続での音楽再生品質を切り替える（コーデック）](#)
- [ランプ表示](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

5-038-100-01(2) Copyright 2022 Sony Corporation

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

使用中に音が小さくなる

- 以下の場合に音量が小さくなることがありますが、故障ではありません。
 - － 内蔵充電電池で使用中に内蔵充電電池の残量が少なくなり、CHARGE（充電）ランプがゆっくり点滅した場合。
 - － スピーカーが市販のUSB ACアダプターを使用して電源コンセントに接続されていたか、USB充電対応端子が標準装備されたパソコンに接続されていたが、大音量で長時間使用していた結果、内蔵充電電池の残量が減ってしまった場合。
 - － 周りの温度が高いところに置いている場合。
- 使用中に音量が小さくなった場合には、以下の手順を行ってください。
 1. スピーカーの電源を切る。
 2. 内蔵充電電池をいっぱいになるまで充電する。

関連項目

- [充電する](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

ペアリング（機器登録）できない

- スピーカーとBLUETOOTH機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- Apple iOSの機器とBLUETOOTH接続する場合、iOS 10.0以上の機器に対応しています。iOS 9.xより前の機器とのBLUETOOTH接続には対応していません。
- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用する場合は、（BLUETOOTH）ランプが青色に点滅しているスピーカーとペアリングしてください。
- （BLUETOOTH）ランプが青色に2回ずつ点滅していなかったら、（BLUETOOTH）ボタンを押してください。スピーカーから音声ガイダンス（ブルートゥース ペアリングモード）が流れ、（BLUETOOTH）ランプが2回ずつ点滅を開始します（ペアリングモード）。
- スピーカーを初期化すると、iPhoneと接続できなくなる場合があります。この場合は、iPhone側のスピーカーのペアリング情報を削除して、ペアリングをやり直してください。
- ペアリングしたいBLUETOOTH機器の電源が入っていてBLUETOOTH機能が有効になっていることを確認してください。
- ペアリングしたいBLUETOOTH機器にスピーカーが表示されない場合、BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能を一度オフにしてから再度オンにすることにより症状が改善される場合があります。

関連項目

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [ウォークマン®をBLUETOOTH接続する](#)
- [ランプ表示](#)
- [スピーカーを初期化する](#)

ワイヤレススピーカー SRS-XE300

音が途切れる

スピーカーのBLUETOOTH接続品質が「音質優先」に設定されている場合は、お使いのBLUETOOTH機器の設定とご使用環境との組み合わせによって、スピーカーの受信状態が不安定になる場合があります。その場合は、下記の操作により症状が改善される場合があります。

- スピーカーを電子レンジや無線LANなどから離してください。
- BLUETOOTH機器によってBLUETOOTH接続品質を変更できる機器があります。その場合、BLUETOOTH接続品質を「接続優先（SBC）」にしてください。詳しくはお使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーのBLUETOOTH接続品質を「接続優先（SBC）」に切り替えてください。

関連項目

- [BLUETOOTH接続での音楽再生品質を切り替える（コーデック）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

Stereo Pair機能でスピーカーと接続できない

- 接続するすべてのスピーカーのソフトウェアを、最新バージョンにアップデートしてください。
(アップデート方法について詳しくは、「[内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)」をご覧ください。)
- “Sony | Music Center”を最新版にしてから、Stereo Pair機能を設定してください。
“Sony | Music Center”について詳しくは、下記のURLをご覧ください。
<https://www.sony.net/smcqa/>
- 接続する2台のスピーカーが1 m以内に置かれていることをご確認ください。
- 音楽を再生中の場合は、再生を停止してからStereo Pair機能を設定してください。

関連項目

- [2台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ \(Stereo Pair機能\)](#)
- [“Sony | Music Center”でできること](#)
- [内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

Party Connect機能でスピーカーと接続できない

- Party Connect対応機器をご確認ください。Wireless Party Chain対応機器とは接続できません。
- 接続するすべてのスピーカーのソフトウェアを、最新バージョンにアップデートしてください。
(アップデート方法について詳しくは、「[内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)」をご覧ください。)
- “Sony | Music Center”を最新版にしてから、Party Connect機能を設定してください。
“Sony | Music Center”について詳しくは、下記のURLをご覧ください。
<https://www.sony.net/smcqa/>
- 接続するすべてのスピーカーが1 m以内に置かれていることをご確認ください。
- 音楽を再生中の場合は、再生を停止してからParty Connect機能を設定してください。

関連項目

- [複数台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ \(Party Connect機能\)](#)
- “Sony | Music Center”でできること
- [内蔵ソフトウェアをアップデートする](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

Party Connect機能でスピーカーを追加できない

- “Sony | Music Center”で設定したグループの場合、“Sony | Music Center”を使って新しいスピーカーを追加してください。
“Sony | Music Center”について詳しくは、下記のURLをご覧ください。
<https://www.sony.net/smcqa/>
- 音楽を再生中の場合は、再生を停止してからParty Connect機能を設定してください。

関連項目

- [複数台のスピーカーを使用してワイヤレス再生を楽しむ（Party Connect機能）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

2台の機器と同時に接続（マルチポイント接続）できない

- Stereo Pair機能やParty Connect機能を使用している場合は、マルチポイント接続はできません。
- 接続するBLUETOOTH機器によっては、マルチポイント接続できない場合があります。

関連項目

- [2台のBLUETOOTH機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

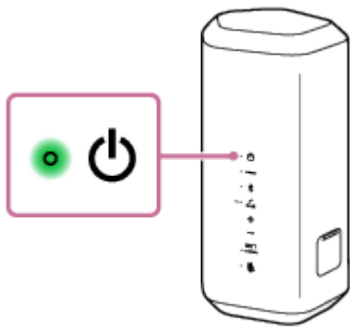
スピーカーをリスタート（再起動）する

以下の場合は、（電源）ボタンを約10秒間押し続けてスピーカーをリスタート（再起動）してください。

- 電源を入れても、スピーカーの操作ができない。
- ペアリング（機器登録）の問題を解決した後も、スピーカーを操作できない。

など

再起動中は電源がオフとなり、その後電源がオンになり再起動が終了します。



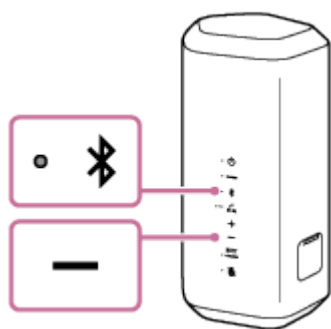
ご注意

- リスタートしても、ペアリング情報は削除されません。ただし、ペアリング情報は電源を切ったときにスピーカーへ登録されます。新たな機器をペアリングした場合は、一度スピーカーの電源を切ってから再度電源を入れて、リスタートしてください。
- スピーカーをリスタートすると、音量や機能、サウンド設定が変更される場合があります。

ワイヤレススピーカー
SRS-XE300

スピーカーを初期化する

リスタートしてもスピーカーが正常に動作しない場合は、初期化してスピーカーをお買い上げ時の設定に戻します。
スピーカーの電源が入っている状態で、－（音量）ボタンを押しながら、（BLUETOOTH）ボタンを電源が切れるまで（5秒以上）押し続けます。



スピーカーが初期化されます。音量調節などをお買い上げ時の設定に戻し、すべてのペアリング（機器登録）情報を削除します。

ご注意

- 電源がオフの間はスピーカーを初期化できません。

関連項目

- [Android™搭載スマートフォンまたはiPhoneをBLUETOOTH®接続する](#)
- [ウォークマン®をBLUETOOTH接続する](#)
- [スピーカーをリスタート（再起動）する](#)